2027年度

入学試験要項

〈総合型選抜〉

大学理念・違いを共に生きる入試

活動実績入試

学科・専攻適性入試

愛知淑徳大学 受験生サイトで
最新の情報を確認してください。
出願前、試験前日、試験当日は
必ず確認してください。

https://www.aasa.ac.jp/welcome/
愛知淑徳大学 受験生サイト 検索

UNIVERSITY 愛知淑徳大学

■アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

愛知淑徳大学は、「違いを共に生きる」を理念として掲げ、性別、国籍、年齢、異なった能力など、さまざまな違いをもつ者が共に学ぶ環境づくりに努めている。その環境の中で繰り広げられる多彩な教育・研究活動を通じて、広い視野と深い思考力を身につけ、時々刻々と変化する現象に対する洞察力と時代を先取りする先見性を獲得し、さらに、新たな価値の発見とその普及のための優れた実践力が養成されている。このような伝統を継承し、さらに推し進めるための学生受け入れ方針として、多様な入試制度を導入している。

〈総合型選抜〉

本学での勉学を強く希望し、第一志望として入学を志す者を対象とした専願制入試。大学の理念を理解し、その理念を促進、発展させることに貢献できる能力や個性を持つ者の入学を期待する。

■大学理念・違いを共に生きる入試

本学の理念である「違いを共に生きる」に共感し、その理念のもとで学修する強い意欲を持つ者を対象とする。全学科・専攻共通の課題で入学前教育（フォローアップ）を実施する。

■活動実績入試

高等学校でのバランスのとれた学習成果を背景に課外活動や資格取得、検定試験などで優れた実績を挙げた者を対象とする。全学科・専攻共通の課題で入学前教育（フォローアップ）を実施する。

■学科・専攻適性入試

本学入学後の専門教育に対する適性と学修意欲を持つ者を対象とする。全学科・専攻共通の課題で入学前教育（フォローアップ）を実施する。

個人情報の取り扱いについて

愛知淑徳大学では、「個人情報の保護に関する法律」に基づいて、個人情報を厳重に管理します。

出願に際してお知らせいただいた氏名、住所、電話番号、その他の個人情報は、志願者への連絡や、入学試験用データとして利用します。これらの個人情報は、愛知淑徳大学に入学された後、入学者用データとして、教学および大学生活全般に関する業務、ならびにこれらに付随する業務をおこなうために利用します。また、愛知淑徳大学関連団体がおこなう同様の業務のためにも利用します。

なお、これらの業務は、愛知淑徳大学および愛知淑徳大学関連団体より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」といいます）においておこなう場合があります。この業務委託にあたり、受託業者に対して、委託業務を遂行するために必要となる範囲で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。あらかじめご了承ください。

目次

学科・専攻別アドミッション・ポリシー …… 1

大学理念・違いを共に生きる入試

1 募集人員 …… 7
2 入試日程 …… 8
3 出願資格 …… 8
4 出願書類 …… 9
5 入学検定料 …… 9
6 選抜方法・配点 …… 10
7 合否判定の方法および基準について … 11
8 第2次選考 受験上の注意 … 11

活動実績入試

1 募集人員 …… 12
2 入試日程 …… 12
3 出願資格 …… 13
4 活動実績について … 14
5 出願書類 …… 17
6 入学検定料 …… 18
7 選抜方法・配点 …… 18
8 合否判定の方法および基準について … 18
9 受験上の注意 …… 19

学科・専攻適性入試

1 募集人員 …… 21
2 入試日程 …… 21
3 出願資格 …… 22
4 出願書類 …… 23
5 入学検定料 …… 23
6 選抜方法・配点 …… 24
7 合否判定の方法および基準について … 25
8 受験上の注意 …… 25

共通

1 インターネット出願
出願の流れ …… 27
1. 事前準備 …… 28
2. マイページの作成 …… 29
3. 出願登録 …… 29
4.「インターネット出願確認票」等の印刷 …… 29
5. 入学検定料の納入 …… 30
6. 出願書類の郵送 …… 31
7. 受験票・受験番号の取得 …… 31
2 試験会場（星が丘キャンパス）案内 …… 32
3 合格発表 …… 32
4 入学手続 …… 33
5 入学前教育 …… 33
6 成績開示 …… 34
7 学納金〔1年次〕 …… 35
8 奨学金 …… 37

様式（本学所定用紙）

大学理念・違いを共に生きる入試

● 課題レポート

活動実績入試

活動実績票・活動内容証明書の記入例 …… 44
● 志望理由書（活動実績入試）
● Ⓐ活動実績票
● Ⓑ活動内容証明書（㋐スポーツ・体育系部門 ㋑文化・芸能系部門）
● Ⓒ活動内容証明書（㋓社会的活動等の部門）
● 活動実績質問用紙（㋐スポーツ・体育系部門 ㋑文化・芸能系部門 ㋒資格・検定部門）
● 活動実績質問用紙（㋓社会的活動等の部門）

学科・専攻適性入試

● 志望理由書（学科・専攻適性入試）

不正行為の取り扱いについて

入試に関する生成AI（ChatGPTなど）の取り扱いについて

学科・専攻別アドミッション・ポリシー

文学部

●国文学科
①学生に期待すること
国語・国文学の研究を通じて、総合的な思考力を身につけるとともに知性・感性を磨き、社会に貢献できる人材となることを期待する。
②学生募集に際して重視すること
書物と主体的に向かい合う姿勢や、自身の意見を論理的な文章によって書き表す能力を有すること。また、その前提となる基本的な文章読解力や語彙力が身に付いていることを重視する。
③入学前学習として推奨すること
図書館などを大いに活用し、書物の世界に慣れ親しむこと。また、読後に要点や感想などを書き出してまとめ、思考力と文章力を養うことも推奨する。

教育学部

●教育学科
教育学部では、教員としての専門的知識、総合力、実践力を身に付け、社会や教育界の発展に寄与したいと考えている意欲的な学生の入学を求める。
①学生に期待すること
小学校又は特別支援学校の教員、中学校・高等学校教員（英語）として活躍するために、必要な専門的な知識と技能の習得に積極的に取り組むことが求められる。また、教育が直面する諸問題に対応する力を備え、豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた教員を目指して努力することを期待する。
②学生募集に際して重視すること
将来、小学校教員又は特別支援学校教員、中学校・高等学校教員（英語）として、学校教育に携わりたいという強い意欲があり、教育に対する情熱と責任感を有することを重視する。また、自ら進んで他者と協働して課題に取り組むコミュニケーション能力を備えていることも必要である。
③入学前学習として推奨すること
教師として幅広い分野での基本的な学力が必要となるため、高等学校までに学習する教科・科目の基礎的知識と技能を着実に習得しておくことが不可欠である。また、教育問題や教育活動に関心を向けることも重要である。

人間情報学部

●人間情報学科 感性工学専攻
①学生に期待すること
情報デザイン制作と情報システム制作において、人の感性に関する知識と AI（人工知能）技術を活用することにより、AI 時代の情報化社会において STEAM 人材※として活躍する意欲を持つことを期待する。
※STEAM 人材とは、科学的でありつつも、創造的な発想で技術開発や問題解決のできる人材を指す。
②学生募集に際して重視すること
・人の感性やユニバーサルデザインの視点から効果的な情報サービス、製品、空間をデザインしたり、人にやさしく豊かなデジタルライフを提案・創造したりすることに関心を持っていること。
・AI や IoT、ビッグデータ、ロボット制御の技術を応用してアプリを開発したり、情報システムを構築したりすることに関心を持っていること。
・これらの内容について記載された文章や図表を理解できる論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること。
③入学前学習として推奨すること
・感性やユニバーサルデザイン、AI、IoT、ビッグデータ、ロボット等のキーワードを含む記事、ならびにそれらが情報サービス、製品、空間のデザインやアプリ・情報システムに活用されている事例について記載された記事に日頃から目を通すこと。
・これらの記事の論旨を要約できる力や主張の根拠の妥当性を的確に指摘できる力、ならびに記事内に記された図表が示す意味を読み取る力の向上に努めること。

●人間情報学科 データサイエンス専攻
①学生に期待すること
統計学に基づく伝統的なデータ分析法から機械学習等の AI（人工知能）を駆使した最新のデータ分析法までを修得することで、AI 時代の情報化社会において、データ分析のスペシャリストとして活躍する意欲を持つことを期待する。
②学生募集に際して重視すること
・データ分析の手法を用いて、知覚、行動、感情、性格等の側面から“人”を理解することに関心を持っていること。
・マーケティング、エンターテイメント、スポーツ、流通、情報通信、健康、福祉等の多岐に渡る分野に対して、データ分析の知識と技術を応用することに関心を持っていること。
・これらの内容について記載された図表や文章を読み解く論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること。
③入学前学習として推奨すること
・新聞、雑誌、WEB ページなどに記載された図表を含む記事や広告等に日頃から目を通すこと。
・記事や広告等に記載された図表が示す意味を理解する力、図表と説明文章とを関連付けて読み解く力、ならびに読み取った内容を要約して文章にする力の向上に努めること。

●人間情報学科 数学・情報教員養成専攻
①学生に期待すること

・数学と AI（人工知能）技術を含む情報学を修得することで、AI 時代の情報化社会において、先進的な中学・高等学校の教育者として活躍する意欲を持つことを期待する。
②学生募集に際して重視すること
・数学と情報分野との関係性を理解することに関心を持っていること。
・AI や教育用アプリなどの情報技術を駆使し、これらを教育に活用することに関心を持っていること。
・これらの内容について記載された文章や図表を読み解く論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること。
③入学前学習として推奨すること
・高校数学（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C）、高校情報Ⅰの基礎を身に付けていること。
・AI をはじめとする最新の情報技術やこれらに関する記事の論旨や数理的意味を理解する力、ならびに読み取った内容を要約して文章化できる力の向上に努めること。

心理学部

●心理学科
①学生に期待すること
心理学部では、人間に関わるさまざまな現象に関心を持ち、論理的かつ客観的に分析していく姿勢が求められる。また、人の心の問題について自分なりの考えを持っているだけでなく、異なる意見を持つ人たちと議論しながら考えをまとめていくことも必要となる。こうした学修活動に積極的に取り組むことが期待される。
②学生募集に際して重視すること
心理学部では、自らおこなう心理学の研究を卒業論文という形でまとめる。そのためには、図表などからデータを読み取り、それに基づいて客観的に考え、まとめる力が必要である。また、自分の考えを主張するだけでなく、多角的な視点をふまえた上で他者と議論するコミュニケーションの力も必要となる。さらに、本学心理学部で学ぶことができる内容についても、偏りなく把握しておくことが重要である。
③入学前学習として推奨すること
心理学は、文系・理系といった枠にとらわれない。文章理解力や数学的な分析力はもとより、人間の生物学的な特徴の理解も必要であるし、社会学的な視点も必要である。つまり、高校で学ぶ主要教科の基礎学力をバランスよく確実に身につけておく必要がある。そのため、受験のための教科以外についても、高校までの学習内容を復習しておくことが大切である。

創造表現学部

創造表現学部では、それぞれの専攻の学修を通じて「表現力」「創造力」「コミュニケーション力」を高めることによって、豊かな自己表現ができ、実社会の諸問題にも適切な対処ができる人材の育成を目標にしている。この目標を達成するために、入学者には以下の点を期待する。

●創造表現学科 創作表現専攻
①学生に期待すること
知的財産としての言語文化・表象文化についての興味関心と、それについて深く学ぼうとする意欲とを抱いて入学してほしい。
②学生募集に際して重視すること
本専攻のカリキュラムを理解し、文芸を中心とした創造的な表現活動に携わり得る知識と実践的な表現技術とを修めるのに必要な基礎力を有していること。
③入学前学習として推奨すること
高等学校までの学習範囲の知識・技能の修得。特に、国語の学習や読書を通して、文章を筋道立てて読み取る読解力と、自分の考えを正しく明確に表すことのできる表現力を磨いてほしい。

●創造表現学科 メディアプロデュース専攻
①学生に期待すること
現代のメディア社会の課題に関心を持ち、マスメディアやソーシャルメディアの役割を知ること。そうした社会のなかで、デジタルメディアや映像、情報デザインなどを通した表現に取り組み、創造的な価値をもたらすクリエイティブな人を目指すこと。
②学生募集に際して重視すること
基礎的な読解力や作文能力、他者とコラボレーションできるコミュニケーション能力、ビジュアル、写真、映像などを用いた表現力を持つことが望ましい。あるいは、これらの能力の向上に前向きであること。
③入学前学習として推奨すること
・映像作品や、身の回りにあるデザインなどに興味を持ち、それらがどのように制作されているのか、自ら調べて情報収集する。
・社会や表現活動の動向を多角的に見る習慣を身につける。具体的には、関連分野の読書や報道番組の視聴、芸術作品の鑑賞や批評に触れること。

建築学部

建築学部は、建築とその内部空間、建築群を含む都市と地域、周囲環境との関わり方を考え、国や地域の歴史や文化、風土・気候などの多様な観点から将来目指すべき持続可能な建築・都市の未来像を構想する。建築・まちづくり、住居・インテリアデザインを学術的・実践的に学ぶことは、様々な学

問領域を横断的・縦断的に学び応用することでもあることから、従来の思考の枠組みや自身の無意識の限界を自ら越えようという意欲と熱意を持つ学生の入学を期待する。

●建築学科 建築・まちづくり専攻
①学生に期待すること
・建築・まちづくりに限らず、様々なモノやコトに対する好奇心と興味・関心を持つこと。
・知らないことや知っているつもりのことを、自身の頭と身体を使って理解しようと心掛けること。
・建築やまちづくりを学ぶことを通して自然・環境・工学・芸術・歴史・文化・風土などのつながりを意識し、部分と全体とを同時に見る広い視野を持てるように心掛けること。
②学生募集に際して重視すること
・建築や環境・都市の機能や文化など有形無形のモノやコトを創造することに深い関心と高い情熱を持っていること。
・建築空間を目的に応じて機能的にしつつ生理的・心理的に心地良くすることに深い関心と高い情熱を持っていること。
・既存の建築と周囲の都市・環境に新たな機能と価値を加え、歴史・文化・伝統を継承し再生・発展させることに深い関心と高い情熱を持っていること。
③入学前学習として推奨すること
・建築やまちづくり等にとらわれず、幅広い分野の書籍・文献等をたくさん読み多様な世界に触れること。
・年代や場所にとらわれず様々な地域の街並みや建築を訪れ、それらの全体や細部・内部、周囲環境を見るとともに五感で建築空間の環境を感じ取ること。
・建築学は文系・理系などの学問分野の枠にとらわれず、様々な分野の学問を学び多様な視点を持つことが求められる。このことを踏まえて、国語や数学における文章理解力や数理的分析力のみならず、環境や歴史、地域・社会への関心など、高校で学ぶ教科・科目の基礎的学力をバランスよく習得すること。

●建築学科 住居・インテリアデザイン専攻
①学生に期待すること
・住居・インテリアデザインに限らず、様々なモノやコトに対する好奇心と興味・関心を持つこと。
・知らないことや知っているつもりのことを、自身の頭と身体を使って理解しようと心掛けること。
・住居・インテリアデザインを学ぶことを通して自然・環境・芸術・歴史・文化・風土などのつながりを意識し、部分と全体とを同時に見る広い視野を持てるように心掛けること。
②学生募集に際して重視すること
・住居の形態や住まい方、空間内部の機能や視覚的デザインなど有形無形のモノやコトを創造することに深い関心と高い情熱を持っていること。
・住居空間を目的や住まい方に応じて機能的にしつつ視覚的・心理的に心地良くすることに深い関心と高い情熱を持っていること。
・既存建築の内部空間に新たな機能と価値を加え、歴史・文化・伝統を継承しつつ再生・発展させることに深い関心と高い情熱を持っていること。
③入学前学習として推奨すること
・住居やインテリアデザイン等にとらわれず、幅広い分野の書籍・文献等をたくさん読み多様な世界に触れること。
・様々な地域の街並みや建築を訪れ、それらの全体や細部・内部、周囲環境を見るとともに五感で建築空間の環境を感じ取ること。
・建築学は文系・理系などの学問分野の枠にとらわれず、様々な分野の学問を学び多様な視点を持つことが求められる。このことを踏まえて、国語や数学における文章理解力や数理的分析力のみならず、環境や歴史地域・社会への関心など、高校で学ぶ教科・科目の基礎的学力をバランスよく習得すること。

健康医療科学部

本学部は、言語聴覚学・言語聴覚障害学、視覚科学・視能学、理学療法学・リハビリテーション療法学、臨床検査学・臨床病態学、救急医療・救急救命学の専門家としての医療人の養成、心身の健康に関する広範な知識をもった教員を含めた生涯健康社会のリーダーの育成、医療や健康科学の現場で活躍する人材の養成を目指している。

上記の目標を達成するために、入学者には次の4点を期待する。
①医療を含め、健康維持や健康回復に関する高い関心を有し、将来、こうした分野の専門家として社会貢献する強い意思を有していること。
②病気や障がいのある人、高齢者などに対して、「違いを共に生きる」の理念に基づき、尊敬と人権尊重の精神を有し、日常的な生活においても、こうした精神を実践できるような人間性を有していること。
③新しい知識や技能の習得に積極的で勉強熱心であり、科学的思考力、論理的思考力、実践的行動力を習得しているか、それらを新たに習得することに積極的であること。
④人間関係において、適切な自尊感情を有するとともに、他者を尊重し、良好な関係を築くことのできるコミュニケーション能力を習得していること。あるいは、それらを新たに向上させることに積極的であること。

●医療貢献学科 言語聴覚学専攻
①学生に期待すること

言語聴覚士の国家資格をめざす強い意思を持ち、専門領域を学ぶ意欲と情熱を持つことを期待する。
②学生募集に際して重視すること
自己表現力、読解力、作文能力、論理的思考力を身に付けていることと、豊かなコミュニケーション能力を身に付けていることが重要と考える。
③入学前学習として推奨すること
以下のことを通して言語聴覚士の職務内容などについて情報を得、自らの関心について自覚することが望まれる。
・オープンキャンパスへの参加、言語聴覚士の職場見学、ボランティア活動
・書籍やマスメディアを用いた言語聴覚障がいに関する情報収集

●医療貢献学科 視覚科学専攻
①学生に期待すること
視覚の研究を通して科学的思考と問題解決の方法論を習得するとともに、医療にふれる中で健康への安心と人への温かくかつ真面目な姿勢を養い、社会の現場において自己実現をするとともに信頼される人材となることを期待する。
②学生募集に際して重視すること
本専攻では医療職である視能訓練士の資格取得も目的の一つである。医療職に求められる健康科学への関心と、コミュニケーション能力を重視する。
③入学前学習として推奨すること
日本語能力を含む基礎学力の充実と、広い分野の読書を推奨する。また、ボランティア活動の経験も推奨する。

●医療貢献学科 理学療法学専攻
①学生に期待すること
理学療法士の国家資格取得に向けて、専門領域の知識・技能を学ぶ意欲を持ち、医療や福祉に関する幅広い知見と高い倫理観を有する人材となることを期待する。
②学生募集に際して重視すること
医療職に求められる高い倫理観と健康科学への関心と、読解力、作文能力、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視する。
③入学前学習として推奨すること
日本語能力を含む基礎学力の充実と、種々のメディアを活用したグローバルな情報収集能力とボランティア活動を通じた行動力の養成を推奨する。

●医療貢献学科 臨床検査学専攻
①学生に期待すること
臨床検査技師の国家資格取得に向けて、専門領域の知識・技能を学ぶ意欲を持ち、保健・医療・福祉に関する幅広い知見をもとに他者と協働し、医療や医学研究・教育を通して社会へ貢献する人材となろうとする意欲を持つことを期待する。
②学生募集に際して重視すること
保健・医療・福祉を中心とした人間や社会への関心と、読解力、作文能力、論理的思考力、コミュニケーション能力、積極性、自主性を重視する。
③入学前学習として推奨すること
日本語能力を含む基礎学力の充実と、広い分野の読書やボランティア活動などを通して人間や社会に対する理解を深める活動を推奨する。

●スポーツ・健康医科学科 スポーツ・健康科学専攻
①学生に期待すること
本専攻は、体と心の健康に関する広範な知識を持った生涯健康社会のリーダーの育成を目指している。健康や運動に関する知識だけでなく、社会の動きにも興味を持ち積極的に学ぶ姿勢を持つことを期待する。
②学生募集に際して重視すること
心身の健康に関して学ぶ姿勢、社会情勢についての広い関心を持っていること、さらに、自らの健康だけではなく社会に資するために、他者への配慮を心がけることや円滑なコミュニケーションをはかることも重要だと考える。
③入学前学習として推奨すること
教科書的な知識だけでなく、書籍やマスメディアからも広く健康・スポーツ・社会に関して学んでおくことが望まれる。

●スポーツ・健康医科学科 救急救命学専攻
①学生に期待すること
本専攻は、救急救命の専門知識および実践力を身につけ、医療と地域社会の課題解決に貢献できる質の高い救急救命士を育成することを目指している。救急医療に関する知識だけでなく、国内外の社会情勢等にも積極的に興味を持ち、見聞を広め学ぶ姿勢を持つことを期待する。
②学生募集に際して重視すること
生命を守り、社会に貢献したいという強い信念を持っていること。さらに、救急救命士の資格を取得し、消防、自衛隊、海上保安庁、警察等の地方・国家公務員、医療機関等で活躍したいという強い意欲があることも重要であると考える。
③入学前学習として推奨すること
救急救命士として求められる知識や技術を身につけるために、基礎的な学力を有するための事前学習が望まれる。また、メディアや書籍を通して社会や健康に関して広く学んでおくことが推奨される。

食健康科学部

本学部は、食健康科学の知識を有し、「食」と「栄養」の専門家として食品分野や健康分野の現場で活躍する人材の養成を目指している。この目標を達成する

ために、入学者には次の点を期待する。
①学生に期待すること
健康維持や疾病予防における食と栄養の係わりに関して高い関心を有し、将来、「食」と「栄養」の専門家として社会に貢献する強い意志を有していること。
②学生募集に際して重視すること
「食」と「栄養」に関する新しい知識や技能の修得に積極的で向学心が高く、科学的思考力、論理的思考力を修得することに積極的であること。
③入学前学習として推奨すること
人間関係において、他者を尊重し、良好な関係を築くことのできるコミュニケーション能力を有していること、あるいは、それらを修得し、向上させることに積極的であること。

●健康栄養学科
①学生に期待すること
「栄養」、「食」の科学に関する学修・研究を通して科学的思考と問題解決の方法論を修得すると共に、管理栄養士の現場にふれる中で保健・医療・福祉への関心と豊かな人間性を養い、社会の現場において自己実現できる人材となることを期待する。
②学生募集に際して重視すること
保健・医療・福祉に関して高い関心と真摯に学ぶ姿勢、社会情勢や当該分野に関連する様々な事象に対して向学心を持っていること、さらに、自らの健康だけでなく、社会に資するために他者への配慮を心掛けることや円滑なコミュニケーション能力を持っていることも重要である。
③入学前学習として推奨すること
高等学校で学ぶ生物、化学の基礎的な知識を身に付けておくことに加え、「健康」、「栄養」、「食」に関する分野の図書や雑誌、新聞記事などを読んでおくこと。

●食創造科学科
①学生に期待すること
食健康科学に関する学修・研究を通して科学的思考と問題解決の方法論を修得すると共に、創造性や先見性を有した食創造力を持って食産業、健康産業に貢献する人材となることを期待する。
②学生募集に際して重視すること
「食」と「栄養」に関する専門知識と創造性に関して高い関心と真摯に学ぶ姿勢を有し、「食」や「健康」に関連する様々な事象に対して向学心を持っていること、さらに、社会に資するために他者への配慮を心掛けることや円滑なコミュニケーション能力を持っていることも重要である。
③入学前学習として推奨すること
高校卒業レベルの基礎的な知識だけでなく、図書や、雑誌、新聞記事などのマスメディアから、「食」、「栄養」、「健康」に関する分野の知識を意欲的に吸収し、自ら考える習慣を身に付けていることが望まれる。

福祉貢献学部

福祉貢献学部は、福祉マインドを培い、福祉的な思考と実践力を身に付け、社会福祉、及び子ども福祉分野で活躍したいと希望する学生を求める。

●福祉貢献学科 社会福祉専攻
①学生に期待すること
社会福祉の仕事に関心を持ち、人間や社会について広い視野に立って学ぶとともに、福祉現場での実習や地域活動に主体的に取り組み、実践力を育てることを期待する。
②学生募集に際して重視すること
様々な人々と関わり援助することに前向きに取り組む姿勢や肯定的な人間関係を育む能力を有すること。また、大学での学びの基盤となる高校等での学習習慣と基礎学力が養われていることを重視する。
③入学前学習として推奨すること
社会福祉の専門職は、人の生活に直面しなければならない。メディア等を通じて生活問題や社会福祉の動向に関心を持ち、考える習慣を身につける。また、様々な活動に参加し、主体的な行動力と安定した社会性を培う。

●福祉貢献学科 子ども福祉専攻
①学生に期待すること
保育士や幼稚園教諭の仕事に関心を持ち、必要な専門的知識や技術の習得に取り組むこと。人間形成に関わる仕事の重要性を自覚し、個性豊かな保育者をめざして努力することを期待する。
②学生募集に際して重視すること
子どもの成長を援助することに前向きに取り組む姿勢や、肯定的な人間関係を育む能力を有すること。また、大学での学びの基盤となる高校等での学習習慣と基礎学力が養われていることを重視する。
③入学前学習として推奨すること
保育士や幼稚園教諭など子どもの育ちや子育てを支援する専門職には、寛容な人間性と多様な能力が要求される。様々な活動に参加し、主体的な行動力と安定した社会性を培うこと。また、子どもや家庭を取り巻く社会の動向にも目を向ける。

交流文化学部

●交流文化学科 ランゲージ専攻
①学生に期待すること
ランゲージ専攻では、しっかりとした日本語力を基礎に様々な言語や文化の知識そしてコミュニケーション能力の修得を通して、国際社会で活躍したいと考える学生の入学を期待している。
②学生募集に際して重視すること
次のことに関心を持ち、個性を伸ばし、自らを磨いて国際協力そして社会の発展に貢献していこうと

する意欲のある人を歓迎する。
(1)幅広い視野から異文化を理解する力を身につけたい人。
(2)文化に関する知識、および多言語活用能力をはじめとする異文化コミュニケーション能力の向上を目指す人。
(3)外国語を使用したスピーチ、ライティング、演劇など自己表現、また言語を教育する力を身につけたい人。
③入学前学習として推奨すること
(1)世界の言語・文化への関心を持ち、自らの基礎的なコミュニケーション能力の向上に努める。
(2)言葉を使用して自らを表現する一方、他の人の自己表現から学ぶ態度を養う。
(3)自らの母語である日本語の知識とスキルを伸ばす。
(4)お互いを理解・尊重し合い、他人の喜びを共に喜び合える態度を養う。

●交流文化学科 観光専攻
①学生に期待すること
観光専攻では、産業や政策、地域、人材など、現代の観光を取り巻く環境を多方面からとらえ、持続可能な社会の発展や課題解決に貢献しようとする意志とビジョンを持つ学生の入学を期待している。
②学生募集に際して重視すること
次のことに関心を持ち、個性を伸ばし、自らを磨いていこうという意欲のある人を歓迎する。
(1)幅広い視野から観光や観光を取り巻く文化や社会を理解する力を身につけたい人。
(2)好奇心を持って自らの想像力を広げ、物事を探究する力や主体的に行動する力を育み、社会に貢献する力を身につけたい人。
(3)ホスピタリティ精神を培い、学び取った知識・経験・実践的スキルを社会に還元する意欲を持つ人。
③入学前学習として推奨すること
(1)広い視野から現代の観光を眺めるため、地域や国を超えた人の交流や世の中の出来事にたえず関心を持ち、情報収集力を身につける。
(2)言語・社会・文化への関心を持ち、観光分野に求められる基礎的なコミュニケーション能力の向上に努める。
(3)ささいなことにも関心を持ち、実際に自らの目で物事を見つめる好奇心・探求心を養う。
(4)お互いを理解・尊重し合い、ホスピタリティ精神を築き、他人の喜びを共に喜び合える態度を養う。

ビジネス学部

●ビジネス学科
ビジネス学部は、グローバルな視野を持ち、企業や地域社会と協働しながら、社会に貢献したいと考えている意欲的な学生の入学を求める。
①学生に期待すること
ビジネス学部は、ビジネスの現場で必要となる幅広い知識を修得するための科目を設け、アクティブラーニングによる実践的な授業科目も多く開講している。このような授業を通じ、ビジネスの現場で必要となるさまざまな能力を身につけたいと考える人を歓迎する。
②学生募集に際して重視すること
ビジネス学部では、ビジネスの世界に貢献したいという意欲に加え、ビジネスの現場で必要となる基礎学力と積極的な学修姿勢、多様な考え方と向き合うコミュニケーション力を重視する。
③入学前学習として推奨すること
ビジネス学部の学びは、文系・理系といった枠にとらわれない。文章を正確に読み取り、自らの考えを表現する力に加え、定量的データを用いて分析する力、そして、社会や経済の仕組みを理解する視点も不可欠である。
このため、高校までに学ぶ主要教科の基礎学力を、バランスよく身につけておくことが重要である。受験科目に限らず、高校での学習内容全体を振り返り、基礎を固めておくことを推奨する。

グローバル・コミュニケーション学部

●グローバル・コミュニケーション学科
グローバル・コミュニケーション学部は、英語で考え、英語で情報を発信し、行動する、人・地域・世界の架け橋となる「地球市民」の育成を目標とした学部であり、「実用的な英語コミュニケーション能力を身に付けたい」「英語を使った仕事に就きたい」という学生を求める。
①学生に期待すること
グローバル社会に求められる地球市民になるためには、高度な英語コミュニケーション能力とともに、幅広い教養も必要である。学生には、世界と日本の社会や文化、人間コミュニケーション、グローバルな課題などに関心を持ち積極的に学ぶ姿勢を期待する。
②学生募集に際して重視すること
高度なコミュニケーション能力は、受動的な姿勢で身に付くものではない。すべての学部専門科目が英語のみで開講されるAll Englishの環境のもと、主体的に学ぼうとする意欲と姿勢を重視する。
③入学前学習として推奨すること
高等学校までの英語の学習内容を十分に理解し、定着させておくことが、大学入学後の高度で実践的な英語コミュニケーション能力修得の基礎となる。新聞・書籍・インターネット・テレビなどを通じて、グローバルなトピックに常に関心を向けることも重要である。

大学理念・違いを共に生きる入試 専願制

現役生 既卒者（卒業後5年以内）

POINT

■大学理念である「違いを共に生きる」に共感し、その理念のもとで学修する強い意欲を問う入試です。
■本学への入学を熱望する者を対象とした専願制入試です（合格した場合は、本学に入学することを条件とします）。
■「学習成績の状況」が3.0以上の者を対象とします。
■現役生だけでなく既卒者（卒業後5年以内）も出願できます。
■出願時に志望学科・専攻を第2志望まで登録できます（学科・専攻にこだわらず本学入学に強い意思がある場合）。
■第2志望に合格した場合にも、本学に入学することを条件とします。
■第1次選考の合格者のみ、第2次選考を受けることができます。
■「活動実績入試（P.12参照）」および「学科・専攻適性入試（P.21参照）」との併願が可能です。
※第1志望と異なる学科・専攻の併願は不可

●出願前に大学理念「違いを共に生きる」をコンセプトにした大学理念動画（入試用）を視聴し、「愛知淑徳大学に入学したい」という思いを課題レポートにまとめ、出願書類として提出します。

<Step1>出願までに 大学理念動画視聴・課題レポート作成 P.10参照
→ <Step2>9月2日～9月9日 出願登録（インターネット出願） P.27参照
→ <Step3>10月1日 〔第1次選考〕書類審査 合格発表 P.32参照
→ <Step4>10月10日 〔第2次選考〕プレゼンテーション試験 P.10参照
→ <Step5>11月2日 〔第2次選考〕合格発表 P.32参照

1 募集人員

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

学部	学科・専攻		募集人員
文学部	国文学科		3名
教育学部	教育学科		4名
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	5名
		データサイエンス専攻	3名
		数学・情報教員養成専攻	1名
心理学部	心理学科		5名
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	3名
		メディアプロデュース専攻	4名
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	2名
		住居・インテリアデザイン専攻	2名
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	1名
		視覚科学専攻	1名
		理学療法学専攻	1名
		臨床検査学専攻	1名
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	3名
		救急救命学専攻	1名
食健康科学部	健康栄養学科		2名
	食創造科学科		5名
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	2名
		子ども福祉専攻	1名
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	4名
		観光専攻	3名
ビジネス学部	ビジネス学科		6名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		2名

●数学・情報教員養成専攻は大学入学後の専門領域との関連上、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修していることを出願資格とします。

2 入試日程

※本試験はいかなる理由であろうとも追試験、再試験等の措置はありません。

出願期間	2026年9月2日（水）～9月9日（水） 締切日消印有効
〔第1次選考〕受験番号の取得	2026年9月12日（土）10:00～ （P.31参照）
〔第1次選考〕合格発表日	2026年10月1日(木)インターネットによる合否照会のみ（合格通知書は発送しません） 〈合否照会可能期間 （P.32参照）〉 2026年10月1日（木）10:00～10月10日（土）23:59
〔第2次選考〕受験票の取得	2026年10月1日（木）10:00～ （P.31参照）
〔第2次選考〕試験日	2026年10月10日(土)
〔第2次選考〕試験会場	星が丘キャンパス （P.32参照）
〔第2次選考〕合格発表日	2026年11月2日(月)インターネットによる合否照会のみ（合格通知書は発送しません） 〈合否照会可能期間 （P.32参照）〉 2026年11月2日（月）10:00～11月8日（日）23:59
合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷	2026年11月2日(月) 10:00～2027年3月31日(水) 23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください（P.33参照）。
入学手続時納入金 締切日	2026年11月26日(木)〔一括納入〕 ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。

3 出願資格

本学のアドミッション・ポリシーを十分に理解したうえで、次の 1～6 のいずれかに該当する者で、本学での勉学を強く希望し、第１志望として入学を志す者（合格した場合は本学に入学することを条件とする）であり、「学習成績の状況」が 3.0 以上の者。かつ、数学・情報教員養成専攻については、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学 A、数学 B、数学 C」を履修している者。

1 高等学校もしくは中等教育学校を2021年4月1日から2027年3月31日までに卒業した者および卒業見込みの者
2 通常の課程による12年の学校教育（特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次）を2021年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者
3 外国において、学校教育における12年の課程を2021年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者
4 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2021年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者
5 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを2021年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者
6 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2021年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者

※アドミッション・ポリシーは、表紙裏面とP.1～P.6を参照してください。

事前に出願資格（3、6）の確認を希望する者は、アドミッションセンターまでご連絡ください。そのうえで、2026年8月3日（月）〈必着〉までに、①～④の書類をアドミッションセンターへ郵送してください。

①出願資格申請書（本学所定用紙：用紙は後日送付）
②卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書の写し
③学業成績証明書（履修した教科・科目および成績、修得した単位数を証明する書類）の写しまたは調査書（原本）で、当該教育施設の在学期間がわかるもの
④当該教育施設の教育内容などを証明できるものの写し（学則、カリキュラム、修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたもの）

〈郵送先〉〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23
愛知淑徳大学　アドミッションセンター
『出願資格確認書類　在中』

・複数の教育施設に在籍した場合は、できるだけ事前に出願資格を確認してください（上記②③④を在籍した教育施設からそれぞれ直接発行してもらい提出してください）。
・外国の教育制度に基づく教育施設を修了（修了見込み）の者で、教育を受けた国・地域の教育制度において大学に進学するために通常必要な大学入学試験・統一試験を受験した者は、その成績評価証明書も提出してください。
・卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書および学業成績証明書は、日本語または英語で作成されたものを提出してください。日本語・英語以外で記載されている場合は、翻訳証明（出身学校、公的機関、翻訳機関等で証明をうけたもの）を添付してください。
・出願資格結果については、全員に郵送で通知します。出願資格が認められた者には、「愛知淑徳大学出願資格認定書」を同封します。

※出願の際は、必ず「愛知淑徳大学出願資格認定書」の写しを、出願書類に添付してください。また、上記②③は、原本または、証明書を発行した教育施設が原本から正しく複製されたことを証明したCertified True Copyを提出してください（調査書は原本のみ）。

＜受験上および修学上の合理的配慮＞

障がい等のため、受験上および修学上の配慮を必要とする方は、アドミッションセンターまでご連絡ください。

本学では、視覚・聴覚および肢体不自由等の障がいのある方が出願する場合は、必要に応じて入学後の学修体制の説明をおこなうための面談を実施しており、面談での内容をご了解いただいたうえで出願をお願いしています。

出願を希望する方は、2026年8月21日（金）までにアドミッションセンターへご連絡ください。期日後の申し出については、受験時の配慮ができない場合があります。

受験上の配慮に関する一般的な例	補聴器または人工内耳の装用、文書による注意事項の伝達、試験時間中の薬の服用、拡大文字問題冊子配付、チェック解答、点字解答、座席を試験室の出入口付近に設定、別室の設定など

■手続方法

出願を希望する方は、期日までにアドミッションセンターへご連絡ください。面談を実施する場合は、日時を調整し、あらためてご連絡します。その後、「受験上の配慮申請書」を郵送しますので、医師の診断書等を添えて必要事項を記入のうえ、アドミッションセンターまでご返送ください。

■注意

・日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している方で、試験当日も同様に使用する場合は、試験場設定等の関係から配慮が必要となりますので、必ず申請してください。
・出願後の不慮の事故などにより、受験時に配慮を必要とする場合も、速やかに問い合わせてください。

TEL（052）781-7084（直通）
平日/9:00～17:00（土・日・祝日、7月24日、8月8日～8月17日は電話受付をしていません）

4 出願書類

1. インターネット出願確認票	出願登録完了後、A4サイズで印刷する （P.27「インターネット出願」参照）
2. 調査書	出身高等学校作成で厳封されたもの ただし、出願資格3の該当者（P.8「出願資格」を参照）は以下の書類を提出する。 「卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書」と「学業成績証明書」を各1通
3. 課題レポート	本学所定用紙（巻末にあり） 1.大学理念動画（入試用）を視聴し、あなたが重要だと考えたキーワードを２つ選び出し、そのキーワードを用いて、愛知淑徳大学を強く志望する動機について大学理念と関連づけて述べなさい。なお、キーワードにはすべて波線を引くこと（400 字以内）。 2.これまでの経験や周囲での出来事の中で、「違いを共に生きる」ということの重要さを実感した事柄について述べなさい（400 字以内）。 3.将来の目標を実現するために、大学理念「違いを共に生きる」を掲げる愛知淑徳大学で過ごす 4 年間で、どのようなことに取り組みたいと考えているか具体的に述べなさい（400 字以内）。 ※志願者本人が、消えないインクの黒ボールペンで記入する。 ※書き損じた場合は、大学WEBサイトよりダウンロードして使用する（軽微な修正の場合、修正テープの使用も可）。ダウンロードする場合は、枚数に注意して提出する。

5 入学検定料

初回検定料 （大学理念・違いを共に生きる入試、活動実績入試、学科・専攻適性入試のいずれか1つを受験する場合）	**25,000円**
大学理念・違いを共に生きる入試、活動実績入試、学科・専攻適性入試の3つを受験する場合の検定料	**35,000円**

6 選抜方法・配点

選抜方法		配点	満点
第1次選考 書類審査	課題レポート	1 30点	1+2 40点
	調査書［学習成績の状況］	2 10点	
第2次選考 （第1次選考 合格者のみ）	プレゼンテーション（個人）	3 60点	1+2+3 100点

※第2次選考合格者は、第1次選考（書類審査）と第2次選考（プレゼンテーション）の得点を総合して決定します。

【大学理念動画視聴・課題レポート作成】

大学WEBサイトで公開されている大学理念動画（入試用）※を視聴し、課題レポート（本学所定用紙）を作成してください。

https://www.aasa.ac.jp/welcome/exam/

※公開期間:7月21日（火）～10月12日（月・祝）

※画像はイメージです。

【プレゼンテーションについて】

課題レポートをもとに、5分以上7分以内で口頭により発表する形式です。発表後は、質疑応答をおこないます。
課題レポート（書き込み不可）の試験室への持ち込みは任意としますが、それ以外の資料等の持ち込みはできません（発表終了後、持ち込んだ課題レポートは持ち帰ってください）。

※課題レポートを持ち込む場合は、出願書類として郵送する前にコピーをとっておいてください。

第2志望まで登録できる志望順位制について

※第１志望の学科・専攻のみを希望する場合は、第２志望の登録をする必要はありません。

・第１志望と第２志望の学科・専攻の併願が可能です。追加検定料は必要ありません。
・第１志望の学科・専攻の合格基準に達していないが、第２志望の学科・専攻の合格基準に達していた場合、第２志望の学科・専攻で合格となる場合があります。ただし、第１志望の受験者が優先されるため、第２志望の学科・専攻での合格の可能性は第１志望の受験者より低くなります。
・第２志望の合否判定は、第１志望の合否判定において募集人員を満たさなかった場合におこないます。

〈第2志望の判定方法〉
・第１志望に合格した場合、第２志望の合否判定はおこないません。
・「活動実績入試」、「学科・専攻適性入試」を併願している場合に、いずれかの入試で合格した場合は、第２志望の合否判定はおこないません。
・第１志望の合否判定において募集人員を満たした場合は、第２志望の合否判定はおこないません。

7 合否判定の方法および基準について

第1次選考は書類審査（課題レポート、調査書「学習成績の状況」）を実施します。第1次選考合格者のみ、第2次選考（プレゼンテーション）を実施します。書類審査（課題レポート、調査書「学習成績の状況」）およびプレゼンテーションの評価に基づいて、総合点の上位から順位付けをおこない、合否判定します。なお、同点者は同順位とします。

8 第2次選考 受験上の注意

1. 試験会場

星が丘キャンパス（P.32参照）

- 2026年10月9日（金）の15:00から17:00まで試験会場の下見が可能です。ただし、試験室への入室はできません。
- 試験会場へは、試験当日および前日の下見の際も、公共交通機関を利用してください。送迎を含め、車での来校は固くお断りします。

2. 試験時間割

入室完了時刻	プレゼンテーション（個人）
9:15	9:40～

- 受験者の数により、試験に要する時間が異なるため、終了時刻は未定です。
- プレゼンテーションの順番について、事前の問い合わせに応じることはできません。

3. 試験当日の注意

（1）入退場について

①試験会場は8:30から入場することができます。
②9:15までに指定の控室に入室・着席してください。遅刻した場合は、試験開始時刻（9:40）までであれば受験できますので、速やかに入室してください。
③試験開始後の途中退室は認めていません。
④携帯電話などは、指定の控室に入る前に電源を切って、かばんの中に入れてください。
⑤試験会場へは、公共交通機関を利用してください。
⑥付添の方は、試験会場（キャンパス内）に入ることはできません。

（2）所持品について

①受験票 ： インターネット出願システム（マイページ）から取得し、A4サイズのコピー用紙に印刷したものを必ず持参してください。
②受験上の注意 ： P.11の「第2次選考 受験上の注意」は印刷して持参するなど、試験当日も確認できるようにしてください。
③時計 ： 試験室には時計がありませんので、各自持参してください。電子機器類（携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチなどのウェアラブル端末等）を時計として使用することはできません。また、大型のもの、秒針音のするもの、アラーム機能は使用できません。

※プレゼンテーション試験前に控室等で電子機器類を身に着けていたり、手に持っていたりすると不正行為となる場合があります。
※上履きは必要ありません。

（3）その他の注意

試験当日、試験室の換気のための窓の開放等をおこなう時間帯があります。各自で防寒のために上着などを持参してください。

〈学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項〉

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡など）に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため、受験できません。なお、上記により試験を欠席した場合でも、追試験や再試験等の措置、および入学検定料の返還はおこないません。試験当日の体調管理には十分に注意してください。

活動実績入試 専願制

現役生のみ

POINT

■高等学校在学中の課外活動や資格取得などの活動実績を評価する入試です。
■当該学科・専攻への入学を熱望する者を対象とした専願制入試です（合格した場合は、本学に入学することを条件とします）。
■現役生で、「学習成績の状況」が3.0以上の者を対象とします。
■「大学理念・違いを共に生きる入試（第1志望）（P.7参照）」および「学科・専攻適性入試（P.21参照）」の同一学科・専攻との併願が可能です。※他学科・専攻の併願は不可。

1 募集人員

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

学部	学科・専攻		募集人員
文学部	国文学科		3名
教育学部	教育学科		5名
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	5名
		データサイエンス専攻	3名
		数学・情報教員養成専攻	1名
心理学部	心理学科		5名
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	3名
		メディアプロデュース専攻	5名
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	2名
		住居・インテリアデザイン専攻	2名
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	2名
		視覚科学専攻	2名
		理学療法学専攻	2名
		臨床検査学専攻	2名
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	4名
		救急救命学専攻	1名
食健康科学部	健康栄養学科		3名
	食創造科学科		5名
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	2名
		子ども福祉専攻	2名
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	7名
		観光専攻	4名
ビジネス学部	ビジネス学科		9名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		3名

●数学・情報教員養成専攻は大学入学後の専門領域との関連上、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修していることを出願資格とします。

2 入試日程

※本試験はいかなる理由であろうとも追試験、再試験等の措置はありません。

出願期間	2026年9月15日（火）～9月28日（月） 締切日消印有効
受験票の取得	2026年10月1日（木）10:00～ （P.31参照）
試験日	2026年10月17日（土）
試験会場	星が丘キャンパス （P.32参照）
合格発表日	2026年11月2日（月）インターネットによる合否照会のみ（合格通知書は発送しません） 〈合否照会可能期間 （P.32参照）〉 2026年11月2日（月）10:00～11月8日（日）23:59
合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷	2026年11月2日（月）10:00～2027年3月31日（水）23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください（P.33参照）。
入学手続時納入金 締切日	2026年11月26日（木）〔一括納入〕 ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。

3 出願資格

本学のアドミッション・ポリシーを十分に理解したうえで、次の1～6のいずれかに該当する者。かつ㋐～㋓のいずれかの活動実績を有する者で、本学での勉学を強く希望し、第1志望として入学を志す者（合格した場合は本学に入学することを条件とする）であり、「学習成績の状況」が3.0以上の者。かつ、数学・情報教員養成専攻については、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修している者。

1 高等学校もしくは中等教育学校を2026年9月卒業、または2027年3月卒業見込みの者
2 通常の課程による12年の学校教育（特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次）を2026年9月修了、または2027年3月修了見込みの者
3 外国において、学校教育における12年の課程を2026年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者
4 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2026年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者
5 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを2026年9月修了、または2027年3月31日までに修了見込みの者
6 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに修了見込みの者

㋐ スポーツ・体育系部門において優れた活動実績がある者
㋑ 文化・芸能系部門において優れた活動実績がある者
㋒ 資格・検定部門において優れた成績を有する者
㋓ 社会的活動等の部門において顕著な実績がある者

※アドミッション・ポリシーは、表紙裏面とP.1～P.6を参照してください。
※本学には入学後の特待制度はありません。

事前に出願資格（3、6）の確認を希望する者は、アドミッションセンターまでご連絡ください。そのうえで、2026年8月21日（金）〈必着〉までに、①～④の書類をアドミッションセンターへ郵送してください。

①出願資格申請書（本学所定用紙：用紙は後日送付）
②卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書の写し
③学業成績証明書（履修した教科・科目および成績、修得した単位数を証明する書類）の写しまたは調査書（原本）で、当該教育施設の在学期間がわかるもの
④当該教育施設の教育内容などを証明できるものの写し（学則、カリキュラム、修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたもの）

〈郵送先〉〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23
愛知淑徳大学　アドミッションセンター
『出願資格確認書類　在中』

・複数の教育施設に在籍した場合は、できるだけ事前に出願資格を確認してください（上記②③④を在籍した教育施設からそれぞれ直接発行してもらい提出してください）。
・外国の教育制度に基づく教育施設を修了（修了見込み）の者で、教育を受けた国・地域の教育制度において大学に進学するために通常必要な大学入学試験・統一試験を受験した者は、その成績評価証明書も提出してください。
・卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書および学業成績証明書は、日本語または英語で作成されたものを提出してください。日本語・英語以外で記載されている場合は、翻訳証明（出身学校、公的機関、翻訳機関等で証明をうけたもの）を添付してください。
・出願資格結果については、全員に郵送で通知します。出願資格が認められた者には、「愛知淑徳大学出願資格認定書」を同封します。

※出願の際は、必ず「愛知淑徳大学出願資格認定書」の写しを、出願書類に添付してください。また、上記②③は、原本または、証明書を発行した教育施設が原本から正しく複製されたことを証明したCertified True Copyを提出してください（調査書は原本のみ）。

＜受験上および修学上の合理的配慮＞

障がい等のため、受験上および修学上の配慮を必要とする方は、アドミッションセンターまでご連絡ください。

本学では、視覚・聴覚および肢体不自由等の障がいのある方が出願する場合は、必要に応じて入学後の学修体制の説明をおこなうための面談を実施しており、面談での内容をご了解いただいたうえで出願をお願いしています。

出願を希望する方は、2026年8月21日（金）までにアドミッションセンターへご連絡ください。期日後の申し出については、受験時の配慮ができない場合があります。

受験上の配慮に関する一般的な例	補聴器または人工内耳の装用、文書による注意事項の伝達、試験時間中の薬の服用、拡大文字問題冊子配付、チェック解答、点字解答、座席を試験室の出入口付近に設定、別室の設定など

■手続方法

出願を希望する方は、期日までにアドミッションセンターへご連絡ください。面談を実施する場合は、日時を調整し、あらためてご連絡します。その後、「受験上の配慮申請書」を郵送しますので、医師の診断書等を添えて必要事項を記入のうえ、アドミッションセンターまでご返送ください。

■注意

・日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している方で、試験当日も同様に使用する場合は、試験場設定等の関係から配慮が必要となりますので、必ず申請してください。
・出願後の不慮の事故などにより、受験時に配慮を必要とする場合も、速やかに問い合わせてください。

TEL（052）781-7084（直通）
平日/9:00～17:00（土・日・祝日、7月24日、8月8日～8月17日は電話受付をしていません）

4 活動実績について

評価の対象となる活動実績は、以下の2つの条件を満たすものに限る。
①高等学校在学中の実績である
②出願時に結果が出ている（証明するものが提出できる）ものである

【格付・採点について】

活動実績は、その分野・内容によって、㋐スポーツ・体育系部門、㋑文化・芸能系部門、㋒資格・検定部門、㋓社会的活動等の部門の4部門に分類し、部門ごとに「対象となる種目」「対象となる競技会」「成績の評価基準」を定め（P.15～P.16参照）、各種目の成績をA～Cの3段階に格付する（要件を満たさない場合は対象外）。

活動実績は、**種目が異なれば最大3つまで申請可能**であり、評価対象となる種目が複数ある場合は、本学の「格付組み合わせ基準」により採点する。

例）格付がAのものが2つ評価対象となった場合は80点。Bのものが2つ、Cのものが1つの計3つ評価対象となった場合は64点。

〈格付組み合わせ基準〉

格付組み合わせ		点数
A	A2以上	80
	A1　B2	78
	A1　B1　C1	76
	A1　B1	74
	A1　C2	72
	A1　C1	70
	A1	68
B	B3	66
	B2　C1	64
	B2	62
	B1　C2	60
	B1　C1	58
	B1	56
C	C3	54
	C2	52
	C1	50

【注意事項】

①P.15～P.16に記載した活動実績のみを対象とするが、それ以外にも本学が適当と認めた場合は、評価の対象とすることがある。
②同一種目は、1つしか申請できない（複数申請した場合は、最も格付の高いものを採用する）。
③同一種目であるか否かは、本学が判断する。

【活動実績に関する問い合わせ】

活動実績について不明な点がある場合は、「活動実績質問用紙（本学所定用紙）」（巻末にあり）に記入し、郵便またはFAXにて2026年8月24日（月）必着でお送りください。電話による問い合わせは受け付けません。

＜送付先＞
〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23
愛知淑徳大学　アドミッションセンター　『活動実績質問用紙　在中』
FAX（052）715−3124

・回答は文書にて郵送します。
・質問を受け付けてから回答するまでには、時間を要することがあります。
・土・日・祝日、7月24日、8月8日～8月17日は受付をしていません。

㋐ スポーツ･体育系部門

●対象となる種目

陸上競技、体操、水泳、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、ハンドボール、サッカー、ラグビーフットボール、バドミントン、ソフトボール、レスリング、柔道、剣道、弓道、空手道、なぎなた、ボクシング、ウエイトリフティング、アーチェリー、野球、ゴルフ、スキー、スケート、自転車競技、ヨット、フェンシング、カヌー、登山、ホッケー、相撲、ローイング、少林寺拳法、チアリーディング

●対象となる競技会

- オリンピック
- 国際大会（全国大会を経て日本代表として出場したもの）
- 国民スポーツ大会
  （※全国高等学校体育連盟が対象とする種目に限る）
- 全国高等学校体育連盟が主催･共催する大会
- 各ブロック高等学校体育連盟が主催、共催する大会
- 日本高等学校野球連盟が主催する大会
- 日本高等学校女子硬式野球連盟が主催する大会
- 日本高等学校ゴルフ連盟が主催する大会
- 日本チアリーディング協会が主催する大会

●成績の評価基準

成　　績		格　付
国際大会	出場（日本代表として）	A
全国大会	入賞（1～8位）	
全国大会	9位以下	B
ブロック大会	出場	C

注１）ブロック大会とは、各都道府県大会より上位の大会で、全国大会ではないが複数の都道府県にまたがっておこなわれる大会を指す。
注２）団体種目と個人種目は同等に扱う。
注３）団体種目･競技の場合は、申請した各競技会の正規登録選手であることを条件とする。
注４）チアリーディングはDivision1 自由演技（アドバンス／ユース）を対象とする。全国大会はJapan Cup（日本選手権大会）のみ、ブロック大会（各地方大会）は6位までを対象とする。
注５）女子硬式野球は全国大会のみを対象とする。入賞（1位～4位）を格付A、入賞（5位～8位）を格付B、9位～16位を格付Cとする。
注６）オリンピックに出場の場合、対象となる種目以外でも国際大会出場とする。

㋑ 文化･芸能系部門

●対象となる種目

合唱、吹奏楽、マーチングバンド、バトントワーリング、ダンス、放送、演劇、文芸、ディベート、スピーチ

●対象となる競技会･コンクール

- 全日本合唱コンクール（全日本合唱連盟）
- NHK全国学校音楽コンクール（NHK）
- 全日本吹奏楽コンクール（全日本吹奏楽連盟）
- 全日本アンサンブルコンテスト（全日本吹奏楽連盟）
- 全日本マーチングコンテスト（全日本吹奏楽連盟）
- マーチングバンド全国大会（日本マーチングバンド協会）
- 全日本バトントワーリング選手権大会（日本バトン協会）
- バトントワーリング全国大会（日本バトン協会）
- 全日本高校･大学ダンスフェスティバル（日本女子体育連盟･神戸市･神戸市教育委員会）
- 日本高校ダンス部選手権 夏の公式全国大会（ストリートダンス協会）
- NHK杯全国高校放送コンテスト（全国放送教育研究会連盟）
- 全国高等学校演劇大会（全国高等学校演劇協議会）
- 全国高等学校文芸コンクール（全国高等学校文化連盟）
- 著名な文学賞
- 全国高校生英語ディベート大会（全国高校英語ディベート連盟）
- 全国高等学校英語スピーチコンテスト（全国英語教育研究団体連合会）

●成績の評価基準

成　　績		格 付
全国大会	個人1位	A
全国大会	個人2位～8位、団体1位、団体金賞	B
全国大会	個人出場、団体出場	C

※著名な文学賞受賞の場合は格付を検討する。

注１）団体種目･競技の場合は、申請した各競技会の正規登録メンバーであることを条件とする。
注２）ダンスの全日本高校･大学ダンスフェスティバルは、文部科学大臣賞、三賞（NHK 賞、日本女子体育連盟会長賞、神戸市長賞）および特別賞を対象とし、文部科学大臣賞は団体１位、三賞と特別賞は団体出場とみなす。

㋒ 資格・検定部門

●対象となる種目

コンピュータ活用、簿記、珠算・電卓、商業経済、数学、英語、外国語

●対象となる資格・検定および成績の評価基準

種目	資格・検定名		主催団体名	格付 A	格付 B	格付 C
コンピュータ活用	情報処理技術者試験	応用情報技術者試験	情報処理推進機構（IPA）	取得	—	—
		基本情報技術者試験		取得	—	—
		情報セキュリティマネジメント試験		—	取得	—
		ITパスポート試験		—	取得	—
	情報処理検定試験（部門問わず）		全国商業高等学校協会	—	—	1級
	ビジネス文書実務検定試験 ※「速度部門」のみの合格は対象外			—	—	1級
	情報技術検定（種目合格は不可）		全国工業高等学校長協会	—	—	1級
	計算技術検定（種目合格は不可）			—	—	1級
	パソコン利用技術検定			—	—	1級
簿　記	日商簿記検定（方式問わず）		日本商工会議所	1級	2級	—
	簿記実務検定試験（部門合格は不可）		全国商業高等学校協会	—	—	1級
珠算・電卓	珠算能力検定		日本商工会議所	—	1級	—
	ビジネス計算実務検定試験（部門合格は不可）		全国商業高等学校協会	—	—	1級
商業経済	商業経済検定試験		全国商業高等学校協会	—	—	1級
数　学	実用数学技能検定		日本数学検定協会	1級	準1級	2級
英　語	実用英語技能検定（方式問わず）		日本英語検定協会	1級・準1級	2級	準2級プラス・準2級
	IELTS™〈アカデミック・モジュール〉（方式問わず）			5.5以上	4.5～5.0	4.0
	英語検定試験		全国商業高等学校協会	—	—	1級
	リスニング英語検定		全国工業高等学校長協会	—	1級	2級
	TOEIC® Listening & Reading Test ※IPテストは不可		国際ビジネスコミュニケーション協会	550点以上	490点～545点	350点～485点
	TOEIC® Bridge Listening & Reading Test			86点以上	80点～85点	64点～79点
	TOEFL iBT® ※従来スコア（120点満点）で確認すること		ETS（Educational Testing Service）	61点以上	48点～60点	42点～47点
	ケンブリッジ英語検定		ケンブリッジ大学英語検定機構	B2 First/ B2 First for Schools	—	B1 Preliminary/ B1 Preliminary for Schools
	国連英検		日本国際連合協会	B級	—	C級
	GTEC（CBTタイプ、検定版） ※オフィシャルスコアに限る		ベネッセコーポレーション	1110点以上	970点～1109点	800点～969点
外国語	中国語検定試験		日本中国語検定協会	1級	準1級・2級	—
	HSK（漢語水平考試）		中国政府教育部	6級・5級	4級	—
	「ハングル」能力検定試験		ハングル能力検定協会	1級	2級	準2級
	韓国語能力試験		韓国教育財団	6級・5級	4級・3級	2級

注）英語と外国語の検定試験については、母語の試験結果は対象外とする。

㋓ 社会的活動等の部門

●対象となる種目

社会的奉仕活動、生徒会活動

●成績の評価基準

（1）社会的奉仕活動

次の①～③のすべての条件を満たしていることとし、活動内容に応じて本学が格付する（格付C）。

① 個人が主体的に活動していること、または、社会奉仕を目的とした団体に個人で参加していること。
教育の一環として高等学校がおこなっている授業・課外活動・クラブ活動（高等学校が参加者を取りまとめている活動を含む）や、ボーイスカウトなどは対象外とする。

② 定期的（月1回程度）に活動しており、かつ活動期間が1年以上継続していること。ただし、海外での活動は社会的奉仕活動に実際に携わった日数が10日以上であること。

③ 活動内容に関する第三者または対象者による認定があること。

※社会的奉仕活動の格付は、できるだけ事前に確認してください（P.14「活動実績に関する問い合わせ」参照）。

（2）生徒会活動

生徒会会長のみを対象とする（格付C）。生徒会会長以外は評価の対象としない。

5 出願書類

提出書類	様　式	記入上の注意	部　門			
			㋐スポーツ・体育系	㋑文化・芸能系	㋒資格・検定	㋓社会的活動等
1. インターネット出願確認票	出願登録完了後、印刷する（A4サイズ）	P.27「インターネット出願」を参照する。	○			
2. 調査書	出身高等学校作成のもの	出身高等学校作成で厳封されたもの ただし、出願資格3の該当者（P.13「出願資格」を参照）は以下の書類を提出する。 「卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書」と「学業成績証明書」を各1通	○			
3. 志望理由書	本学所定用紙 ※活動実績入試のものを使用してください	志望する学科・専攻への志望理由と入学後の目標、大学生活への抱負などについて、表面に箇条書きにし、裏面に600字以内の文章でまとめる。	○			
4. 活動実績票	本学所定用紙（様式A）	P.44「活動実績票の記入例」を参照する。 ①**同一種目については、最高の成績のものを1つ**記入する。 ②**高等学校在学中の活動実績に限る。** ③出願時に証明できる成績に限る。 ④団体種目・競技の場合は、**正規登録選手・メンバー**であることを条件とする。コーチ、マネージャーは対象としない。 ※最大3種目申請可能	○			
5. 活動内容証明書 ㋐スポーツ・体育系部門 ㋑文化・芸能系部門	本学所定用紙（様式B）	P.45「活動内容証明書の記入例」を参照し、1つの活動実績につき1枚を提出する。 記載内容責任者が署名・捺印する。	○	○	—	—
6. 活動内容証明書 ㋓社会的活動等の部門	本学所定用紙（様式C）	P.45「活動内容証明書の記入例」を参照し、1つの活動実績につき1枚を提出する。 活動内容証明欄の記入と署名・捺印は記載内容責任者がおこなう。	—	—	—	○
7. 活動実績を証明するもの	活動実績を証明するもののコピー（A4サイズ）	下記①、②の両方を提出する。 ①活動実績票に記載した事項を証明するもの（賞状、合格証、主催者発行の成績表、新聞記事など、客観的に証明できるもので、**主催団体名が確認できるもの**）のコピー* *実用英語技能検定についてはデジタル証明書の印刷でも構いません。 ②団体種目・競技の場合は、正規登録選手・メンバーであることを証明できるもの（大会名記載のメンバー表、新聞記事など）のコピー（提出できない場合は、アドミッションセンターまで問い合わせること。）	○			

・本学所定用紙は、志願者本人が消えないインクの黒ボールペンで記入してください。
・「活動内容証明書（5または6）」と「活動実績を証明するもの（7）」は、活動実績ごとにクリップ留めして提出してください。
・上記3～6の本学所定用紙の枚数が不足する場合、または書き損じた場合は、大学WEBサイトよりダウンロードして使用してください（軽微な修正の場合、修正テープの使用も可）。ダウンロードする場合は、枚数に注意して提出してください。
・活動実績入試と学科・専攻適性入試を同時に出願する場合は、1つの封筒に入れて郵送することができます（この場合、調査書は1通で結構です）。出願書類提出後、学科・専攻適性入試を追加で出願する場合は、改めて調査書が必要になります。

6 入学検定料

初回検定料 （大学理念･違いを共に生きる入試、活動実績入試、学科･専攻適性入試のいずれか1つを受験する場合）	25,000円
大学理念･違いを共に生きる入試、活動実績入試、学科･専攻適性入試の3つを受験する場合の検定料	35,000円

7 選抜方法･配点

選抜方法	配点	満点
活動実績票	80点	200点
調査書［学習成績の状況］	20点	
日本語活用能力試験（30分） 全問マーク式	40点	
個人面接	55点	
志望理由書	5点	

〈日本語活用能力試験〉

漢字、熟語、慣用句などの日本語の活用･運用能力を測る基礎的な問題です。

※『入試問題集2027 活動実績入試、学科･専攻適性入試、公募制推薦入試』を参考にしてください。

〈個人面接〉

【面接の主な質問と評価のポイント】

（1）当該学科･専攻で学びたいという十分な意欲･動機があるか。
（2）自分の考え方を論理的に説明できるか。
（3）当該学科･専攻で学ぶにあたって必要な関心事項や基礎的な知識があるか。
（4）当該学科･専攻のアドミッション･ポリシーを十分に理解しているか。
（5）高等学校在学中に努力した活動を通じて何を得たのか。

8 合否判定の方法および基準について

活動実績票、調査書「学習成績の状況」、日本語活用能力試験、面接、志望理由書の評価に基づいて、総合点の上位から順位付けをおこない、合否判定します。なお、同点者は同順位とします。

9 受験上の注意

1. 試験会場

星が丘キャンパス（P.32参照）

・ 2026年10月16日（金）の15:00から17:00まで試験会場の下見が可能です。ただし、試験室への入室はできません。
・ 試験会場へは、試験当日および前日の下見の際も、公共交通機関を利用してください。送迎を含め、車での来校は固くお断りします。

2. 試験時間割

入室完了時刻	日本語活用能力試験	昼食休憩	入室	面接
10:10	10:30～11:00	11:00～11:50	11:50	12:00～

・ 受験者の数により、面接に要する時間が異なるため、面接終了時刻は未定です。
・ 面接の順番や内容について、事前の問い合わせに応じることはできません。

3. 試験当日の注意

(1) 入退場について

①試験会場は9:15から入場することができます。
②10:10までに試験室に入室・着席してください。遅刻した場合は、試験開始後10分以内であれば受験できますので、速やかに入室してください。ただし、試験時間は延長しません。
③試験開始後の途中退室は認めていません。
④携帯電話などは、試験室に入る前に電源を切って、かばんの中に入れてください。
⑤試験会場へは、公共交通機関を利用してください。
⑥付添の方は、試験会場（キャンパス内）に入ることはできません。

(2) 所持品について

①受験票 ： インターネット出願システム（マイページ）から取得し、A4サイズのコピー用紙に印刷したものを必ず持参してください。
②受験上の注意 ： P.19～P.20の「受験上の注意」は印刷して持参するなど、試験当日も確認できるようにしてください。
③時計 ： 試験室には時計がありませんので、各自持参してください。
④昼食 ： 各自持参してください。
⑤筆記用具等 ： 詳細は下記を参照してください。

机の上に置けるもの（使用できるもの）	使用できないもの*
・受験票 ・ＨＢの黒鉛筆（英文や和歌・格言などが書かれていないもの） ・鉛筆キャップ ・シャープペンシルと替えの芯 ・消しゴム ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く） ・時計 ［辞書や電卓、端末機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く］ ・眼鏡、目薬 ・ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）	・電卓 ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む） ・コンパス ・携帯電話 ・スマートフォン ・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等） ・タブレット端末 ・電子辞書 ・ICレコーダー ・電動式鉛筆削り ・下敷き ・耳栓、イヤホン、ヘッドホン
＜監督者の許可を得てから使用するもの＞ ・座布団、クッション ・ひざ掛け（コートをひざ掛けとして使用する場合も含む）	

＊昼食休憩の時間を除き、入室完了時刻から面接が終了し試験会場を出るまで使用できません。これらのものを身に着けていたり、手に持っていたりすると不正行為となる場合があります。

※上履きは必要ありません。

(3)解答上の注意

①解答には、「HBの黒鉛筆」「消しゴム」を使用してください。

②問題用紙に落丁・乱丁、印刷不鮮明等の不備がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

(4)試験時間中の注意

①試験時間中は、監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。

②原則として、試験終了まで退室は認めません。体調不良、トイレ等やむを得ない場合は、手を挙げてください。途中退室しても、試験時間の延長はありません。

③試験時間中に日常的な生活騒音(監督者の巡回による足音・試験監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者のせき・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計の短時間の鳴動、照明の点滅、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも、時間延長等の救済措置はおこないません。

(5)その他の注意

①学内の食堂、売店は営業していません。各自持参した昼食は、試験室の自席でとってください。

②試験当日、試験室の換気のための窓の開放等をおこなう時間帯があります。各自で防寒のために上着などを持参してください。

〈学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項〉

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡など)に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため、受験できません。なお、上記により試験を欠席した場合でも、追試験や再試験等の措置、および入学検定料の返還はおこないません。試験当日の体調管理には十分に注意してください。

学科・専攻適性入試 専願制

現役生　既卒者（卒業後5年以内）

POINT

■入学後の専門教育に対する適性および学習意欲を問う入試です。
■当該学科・専攻への入学を熱望する者を対象とした専願制入試です（合格した場合は、本学に入学することを条件とします）。
■「学習成績の状況」が3.0以上の者を対象とします。
■現役生だけでなく既卒者（卒業後5年以内）も出願できます。
■「大学理念・違いを共に生きる入試（第1志望）（P.7参照）」および「活動実績入試（P.12参照）」の同一学科・専攻との併願が可能です。※他学科・専攻の併願は不可。

1 募集人員

※出願状況および試験の成績によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

学部	学科・専攻		募集人員
文学部	国文学科		16名
教育学部	教育学科		23名
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	18名
		データサイエンス専攻	10名
		数学・情報教員養成専攻	2名
心理学部	心理学科		31名
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	16名
		メディアプロデュース専攻	21名
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	12名
		住居・インテリアデザイン専攻	10名
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	6名
		視覚科学専攻	6名
		理学療法学専攻	6名
		臨床検査学専攻	6名
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	16名
		救急救命学専攻	4名
食健康科学部	健康栄養学科		13名
	食創造科学科		19名
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	12名
		子ども福祉専攻	8名
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	24名
		観光専攻	16名
ビジネス学部	ビジネス学科		36名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		10名

●数学・情報教員養成専攻は大学入学後の専門領域との関連上、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C」を履修していることを出願資格とします。

2 入試日程

※本試験はいかなる理由であろうとも追試験、再試験等の措置はありません。

出願期間	2026年9月15日（火）～9月28日（月） 締切日消印有効
受験票の取得	2026年10月1日（木）10:00～ （P.31参照）
試験日	2026年10月18日（日）
試験会場	星が丘キャンパス （P.32参照）
合格発表日	2026年11月2日（月）インターネットによる合否照会のみ（合格通知書は発送しません） 〈合否照会可能期間 （P.32参照）〉 2026年11月2日（月）10:00～11月8日（日）23:59
合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷	2026年11月2日（月）10:00～2027年3月31日（水）23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください（P.33参照）。
入学手続時納入金 締切日	2026年11月26日（木）〔一括納入〕 ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。

3 出願資格

本学のアドミッション・ポリシーを十分に理解したうえで、次の 1 ～ 6 のいずれかに該当する者で、本学での勉学を強く希望し、第 1 志望として入学を志す者（合格した場合は本学に入学することを条件とする）であり、「学習成績の状況」が 3.0 以上の者。かつ、数学・情報教員養成専攻については、高等学校において「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学 A、数学 B、数学 C」を履修している者。

1 高等学校もしくは中等教育学校を2021年4月1日から2027年3月31日までに卒業した者および卒業見込みの者
2 通常の課程による12年の学校教育（特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次）を2021年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者
3 外国において、学校教育における12年の課程を2021年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者
4 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2021年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者
5 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを2021年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者
6 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で2021年4月1日から2027年3月31日までに修了した者および修了見込みの者

※アドミッション・ポリシーは、表紙裏面とP.1～P.6を参照してください。

事前に出願資格（3、6）の確認を希望する者は、アドミッションセンターまでご連絡ください。そのうえで、2026年8月21日（金）〈必着〉までに、①～④の書類をアドミッションセンターへ郵送してください。

①出願資格申請書（本学所定用紙：用紙は後日送付）
②卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書の写し
③学業成績証明書（履修した教科・科目および成績、修得した単位数を証明する書類）の写しまたは調査書（原本）で、当該教育施設の在学期間がわかるもの
④当該教育施設の教育内容などを証明できるものの写し（学則、カリキュラム、修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたもの）

〈郵送先〉〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23
愛知淑徳大学　アドミッションセンター
『出願資格確認書類　在中』

・複数の教育施設に在籍した場合は、できるだけ事前に出願資格を確認してください（上記②③④を在籍した教育施設からそれぞれ直接発行してもらい提出してください）。
・外国の教育制度に基づく教育施設を修了（修了見込み）の者で、教育を受けた国・地域の教育制度において大学に進学するために通常必要な大学入学試験・統一試験を受験した者は、その成績評価証明書も提出してください。
・卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書および学業成績証明書は、日本語または英語で作成されたものを提出してください。日本語・英語以外で記載されている場合は、翻訳証明（出身学校、公的機関、翻訳機関等で証明をうけたもの）を添付してください。
・出願資格結果については、全員に郵送で通知します。出願資格が認められた者には、「愛知淑徳大学出願資格認定書」を同封します。

※出願の際は、必ず「愛知淑徳大学出願資格認定書」の写しを、出願書類に添付してください。また、上記②③は、原本または、証明書を発行した教育施設が原本から正しく複製されたことを証明したCertified True Copyを提出してください（調査書は原本のみ）。

＜受験上および修学上の合理的配慮＞

障がい等のため、受験上および修学上の配慮を必要とする方は、アドミッションセンターまでご連絡ください。

本学では、視覚・聴覚および肢体不自由等の障がいのある方が出願する場合は、必要に応じて入学後の学修体制の説明をおこなうための面談を実施しており、面談での内容をご了解いただいたうえで出願をお願いしています。

出願を希望する方は、2026年8月21日（金）までにアドミッションセンターへご連絡ください。期日後の申し出については、受験時の配慮ができない場合があります。

受験上の配慮に関する一般的な例　補聴器または人工内耳の装用、文書による注意事項の伝達、試験時間中の薬の服用、拡大文字問題冊子配付、チェック解答、点字解答、座席を試験室の出入口付近に設定、別室の設定など

■手続方法

出願を希望する方は、期日までにアドミッションセンターへご連絡ください。面談を実施する場合は、日時を調整し、あらためてご連絡します。その後、「受験上の配慮申請書」を郵送しますので、医師の診断書等を添えて必要事項を記入のうえ、アドミッションセンターまでご返送ください。

■注意

・日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している方で、試験当日も同様に使用する場合は、試験場設定等の関係から配慮が必要となりますので、必ず申請してください。
・出願後の不慮の事故などにより、受験時に配慮を必要とする場合も、速やかに問い合わせてください。

TEL（052）781-7084（直通）
平日/9:00～17:00（土・日・祝日、7月24日、8月8日～8月17日は電話受付をしていません）

4 出願書類

1. インターネット出願確認票	出願登録完了後、A4サイズで印刷する （P.27「インターネット出願」参照）
2. 調査書	出身高等学校作成で厳封されたもの ただし、出願資格3の該当者（P.22「出願資格」を参照）は以下の書類を提出する。 「卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書」と「学業成績証明書」を各1通
3. 志望理由書	本学所定用紙　※学科・専攻適性入試のものを使用してください 志望する学科・専攻への志望理由と入学後の目標、大学生活への抱負などについて、表面に箇条書きにし、裏面に600字以内の文章でまとめる。 ※志願者本人が、消えないインクの黒ボールペンで記入する。 ※書き損じた場合は、大学WEBサイトよりダウンロードして使用する（軽微な修正の場合、修正テープの使用も可）。ダウンロードする場合は、枚数に注意して提出する。

・活動実績入試と学科・専攻適性入試を同時に出願する場合は、1つの封筒に入れて郵送することができます（この場合、調査書は1通で結構です）。出願書類提出後、活動実績入試を追加で出願する場合は、改めて調査書が必要になります。

5 入学検定料

初回検定料 （大学理念・違いを共に生きる入試、活動実績入試、学科・専攻適性入試のいずれか1つを受験する場合）	**25,000円**
大学理念・違いを共に生きる入試、活動実績入試、学科・専攻適性入試の3つを受験する場合の検定料	**35,000円**

6 選抜方法・配点

選抜方法	配点	満点
調査書［学習成績の状況］	20点	100点
学科・専攻別適性試験（60分）	40点	
面接	35点	
志望理由書	5点	

〈学科・専攻別適性試験〉

大学入学後の各学科・専攻での専門教育に対する適性を問うものです。
文章を読み、自分の考えを記述するものや、資料やグラフについて分析するものなど、内容は学科・専攻ごとに異なります。
※『入試問題集2027 活動実績入試、学科・専攻適性入試、公募制推薦入試』を参考にしてください。

〈面接〉

学部	学科・専攻		面接方法
文学部	国文学科		個人面接
教育学部	教育学科		集団面接
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	集団面接
		データサイエンス専攻	集団面接
		数学・情報教員養成専攻	集団面接
心理学部	心理学科		個人面接
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	集団面接
		メディアプロデュース専攻	集団面接
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	集団面接
		住居・インテリアデザイン専攻	集団面接
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	個人面接
		視覚科学専攻	集団面接
		理学療法学専攻	集団面接
		臨床検査学専攻	集団面接
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	集団面接
		救急救命学専攻	集団面接
食健康科学部	健康栄養学科		集団面接
	食創造科学科		集団面接
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	集団面接
		子ども福祉専攻	集団面接
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	集団面接
		観光専攻	集団面接
ビジネス学部	ビジネス学科		集団面接
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		集団面接（英語での質問を含む）

※集団面接の内容は個人面接と同様。ただし複数の受験者が合同でおこなう。

【面接の主な質問と評価のポイント】

(1)当該学科・専攻で学びたいという十分な意欲・動機があるか。
(2)自分の考え方を論理的に説明できるか。
(3)当該学科・専攻で学ぶにあたって必要な関心事項や基礎的な知識があるか。
(4)当該学科・専攻のアドミッション・ポリシーを十分に理解しているか。

7 合否判定の方法および基準について

調査書「学習成績の状況」、学科・専攻別適性試験、面接、志望理由書の評価に基づいて、総合点の上位から順位付けをおこない、合否判定します。なお、同点者は同順位とします。

8 受験上の注意

1. 試験会場

星が丘キャンパス（P.32参照）

・ 2026年10月16日（金）の15:00から17:00まで試験会場の下見が可能です。ただし、試験室への入室はできません。
・ 試験会場へは、試験当日および前日の下見の際も、公共交通機関を利用してください。送迎を含め、車での来校は固くお断りします。

2. 試験時間割

入室完了時刻	学科・専攻別適性試験	昼食休憩	入室	面接
9:40	10:00～11:00	11:00～11:50	11:50	12:00～

・ 受験者の数により、面接に要する時間が異なるため、面接終了時刻は未定です。
・ 面接の順番や内容について、事前の問い合わせに応じることはできません。

3. 試験当日の注意

（1）入退場について

①試験会場は8:30から入場することができます。
②9:40までに試験室に入室・着席してください。遅刻した場合は、試験開始後20分以内であれば受験できますので、速やかに入室してください。ただし、試験時間は延長しません。
③試験開始後の途中退室は認めていません。
④携帯電話などは、試験室に入る前に電源を切って、かばんの中に入れてください。
⑤試験会場へは、公共交通機関を利用してください。
⑥付添の方は、試験会場（キャンパス内）に入ることはできません。

（2）所持品について

①受験票 ： インターネット出願システム（マイページ）から取得し、A4サイズのコピー用紙に印刷したものを必ず持参してください。
②受験上の注意 ： P.25～P.26の「受験上の注意」は印刷して持参するなど、試験当日も確認できるようにしてください。
③時計 ： 試験室には時計がありませんので、各自持参してください。
④昼食 ： 各自持参してください。
⑤筆記用具等 ： 詳細は次ページの表を参照してください。

机の上に置けるもの（使用できるもの）	使用できないもの*
・受験票 ・ＨＢの黒鉛筆（英文や和歌・格言などが書かれていないもの） ・鉛筆キャップ ・シャープペンシルと替えの芯 ・消しゴム ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く） ・時計 ［辞書や電卓、端末機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く］ ・眼鏡、目薬 ・ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）	・電卓 ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む） ・コンパス ・携帯電話 ・スマートフォン ・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等） ・タブレット端末 ・電子辞書 ・ICレコーダー ・電動式鉛筆削り ・下敷き ・耳栓、イヤホン、ヘッドホン
＜監督者の許可を得てから使用するもの＞ ・座布団、クッション ・ひざ掛け（コートをひざ掛けとして使用する場合も含む）	

＊昼食休憩の時間を除き、入室完了時刻から面接が終了し試験会場を出るまで使用できません。これらのものを身に着けていたり、手に持っていたりすると不正行為となる場合があります。

※上履きは必要ありません。

(3)解答上の注意

①解答用紙には、受験番号、氏名を必ず記入してください。

②問題用紙、解答用紙に落丁・乱丁、印刷不鮮明等の不備がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

(4)試験時間中の注意

①試験時間中は、監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。

②原則として、試験終了まで退室は認めません。体調不良、トイレ等やむを得ない場合は、手を挙げてください。途中退室しても、試験時間の延長はありません。

③試験時間中に日常的な生活騒音（監督者の巡回による足音・試験監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者のせき・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計の短時間の鳴動、照明の点滅、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも、時間延長等の救済措置はおこないません。

④英文字や地図等がプリントされている衣服は着用しないでください。

(5)その他の注意

①学内の食堂、売店は営業していません。各自持参した昼食は、試験室の自席でとってください。

②試験当日、試験室の換気のための窓の開放等をおこなう時間帯があります。各自で防寒のために上着などを持参してください。

〈学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項〉

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡など）に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため、受験できません。なお、上記により試験を欠席した場合でも、追試験や再試験等の措置、および入学検定料の返還はおこないません。試験当日の体調管理には十分に注意してください。

共通

1 インターネット出願

出願の流れ　※詳細は次ページ以降を参照してください。

1. 事前準備

- □ パソコン環境の準備
- □ プリンターの準備
- □ メールアドレスの準備
- □ 証明写真（顔写真）データの準備
- □ 角形2号封筒の準備
- □ 出願書類の準備

↓

2. マイページの作成　インターネット出願システム　2026年8月25日（火）9:00より入力可能

- □ メールアドレスの登録
- □ 個人情報の登録
- □ 証明写真（顔写真）の登録

↓

3. 出願登録　インターネット出願システム　出願初日9:00より入力可能

- □ 入試方式、出願学科・専攻等の登録

↓

4.「インターネット出願確認票」等の印刷　インターネット出願システム

- □ インターネット出願確認票の印刷
- □ 宛名ラベルの印刷

↓

5. 入学検定料の納入　インターネット出願システム

- □ 入学検定料の納入

この段階では出願はまだ完了していません

↓

6. 出願書類の郵送

- □ 出願書類・封筒をそろえる
- □ 郵便局窓口から「速達・簡易書留」で郵送

↓

出願手続完了

↓

7. 受験票・受験番号の取得　インターネット出願システム

- □ インターネット出願システム（マイページ）から取得する
  - ●受験票は郵送されません。
  - ●試験当日は、必ず印刷した受験票を持参してください。

インターネット出願システム　詳細はインターネット出願システムのガイダンスページを参照してください。
ガイダンスページ：https://www.guide.52school.com/guidance/net-aasa

2026年8月25日（火）9:00から公開予定です。
マイページ内の「STEP3 出願登録」以降は出願初日9:00から手続が可能になります。

1. 事前準備

(1)パソコン環境の準備

インターネット出願には、インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要となります。インターネット出願システムのガイダンスページで推奨環境を確認してください。

(2)プリンターの準備

出願にあたって、A4用紙で「インターネット出願確認票」「宛名ラベル」「受験票」を受験者自身で印刷する必要があります。ご使用のパソコンにプリンターが接続されていることを確認してください。自宅にプリンターがない場合は、学校や知人、コンビニエンスストアのプリントサービス等、PDFファイルを印刷できる環境を確認しておいてください。

(3)メールアドレスの準備

マイページの作成にはメールアドレスが必要となります。また、出願の登録確認、入学検定料の入金確認の通知等はすべてメールにて送信されます。必ず受信可能な個人用メールアドレスを準備しておいてください。ドメイン指定受信を設定している場合、「@52school.com」「@asu.aasa.ac.jp」を受信できるよう設定してください。1つのメールアドレスで、複数人の利用はできません。また、受験者1人に対して、必ず1つのメールアドレスを使用してください。

(4)証明写真(顔写真)データの準備

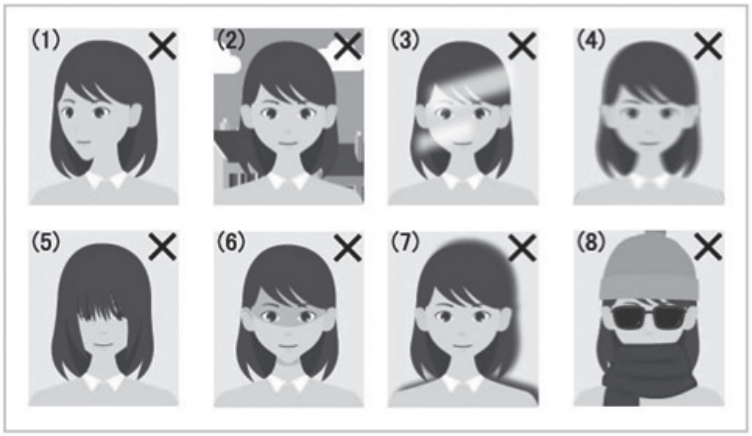
証明写真(顔写真)は試験当日の本人確認用として使用し、入学後の学生証用写真としても卒業まで使用します。以下の条件を満たす顔写真データ(データ形式：JPEG(拡張子はjpg)、100KB以上、5MB以下)を準備してください。なお、iOS(iPhone等)から登録する場合、「HEIF／HEIC形式(拡張子heif／heic)」でも登録が可能です。証明写真機(写真データのダウンロードや取得ができるもの)、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラ等を使用して撮影したものでも構いませんが、アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。

2027年度入試において、すでにインターネット出願登録が完了した証明写真は、変更することはできません。

①直近3カ月以内に撮影したもの
②カラーのみ可(白黒不可)
③上半身・正面、無帽、背景無地(白／青／グレーを基調)、枠なし
④本人のみが写っていること
⑤私服であること(高等学校等の制服不可)

【適切な写真の例】

【不適切な写真の例】



(1)正面を向いていない(顔が横向き等)
(2)無背景でない(風景や柄が写っている)
(3)照明が反射している(顔や眼鏡に光が反射していて一部が見えない)
(4)ピンボケや手振れにより不鮮明
(5)前髪が長すぎて目元が見えない
(6)顔に影がある
(7)背景に影が写っている
(8)マフラーやスカーフで輪郭が隠れている

⑸角形2号封筒の準備

出願書類を郵送するために必要です。角形2号サイズ（240mm×332mm）の封筒を準備してください。

⑹出願書類の準備

出願に必要な書類は入試方式により異なりますので、各入試方式の出願書類を確認し、該当する書類を準備してください。

2. マイページの作成（2026年8月25日（火）9:00より入力可能）

下記URL（インターネット出願システムガイダンス）からマイページを作成してログインし、「STEP2 個人情報の登録と確認」より個人情報の登録と証明写真（顔写真）の登録をおこなってください。

https://www.guide.52school.com/guidance/net-aasa

※大学WEBサイトからもアクセスできます。

3. 出願登録（出願初日9:00より入力可能）

下記URL（インターネット出願システムガイダンス）からマイページにログインし、「STEP3 出願登録」より出願登録してください。画面の案内に従って、出願する入試方式、学科・専攻等を選択してください。

https://www.guide.52school.com/guidance/net-aasa

※大学WEBサイトからもアクセスできます。

4.「インターネット出願確認票」等の印刷

出願登録完了後、「インターネット出願確認票」および「宛名ラベル」を印刷（カラー・白黒どちらでも可）し、登録した内容および正しく印刷されていることを必ず確認してください。「インターネット出願確認票」は2部（出願用・本人保管用）印刷し、「宛名ラベル」は出願書類を封入する封筒に貼付してください。

注意

例年、入学検定料納入後、志望学科・専攻等の入力ミスに気づく例があります。**入学検定料納入後の入試方式、入試日、志望学科・専攻、科目、試験会場等の変更は一切認められませんので、入学検定料納入前に必ず確認してください。**

5. 入学検定料の納入

マイページ「STEP3 出願登録」の登録完了画面より入学検定料のお支払いサイトへ移動後、下記からお支払い方法を選択し、入学検定料を納入してください。支払い完了後は「入学検定料の入金確認の通知」がメールで送信されますので確認してください。メールのセキュリティ設定等によりメールが届かない場合はマイページの「STEP4　出願内容の確認」で「お支払い状況」を確認することができます。支払いの際に発行される領収書（レシート）、受領書またはご利用明細書は、出願書類として提出する必要はありません。大切に保管してください。なお、STEP3の画面を閉じてしまった後は、「STEP4 出願内容の確認」画面より入学検定料のお支払いサイトへ移動し、入学検定料を納入することができます。

<クレジットカード>

カードの名義は、受験者本人でなくても構いません。
出願登録後に別画面で「クレジットカード」支払を選択し、決済を完了してください。
※使用できるクレジットカードは「VISA」「MasterCard」「JCB」「AMERICAN EXPRESS」「Diners Club」のいずれかです。

<コンビニエンスストア>

支払いに必要なお支払い情報を取得後、印刷した「払込票」または各種番号の控えを持参し、以下のコンビニエンスストアで入学検定料を支払います。お支払い情報は、支払いをする際に必要となりますので、必ずメモをとるか印刷してください。
※お支払いは現金のみです。

セイコーマート	ファミリーマート / ローソン / ミニストップ
▼	▼
店頭設置端末は使用しません	店頭設置端末の画面の指示に従って入力
▼	▼
レジでお支払い	端末から出力される「申込券」を持って30分以内にレジでお支払い

レジで「インターネット代金支払」または「オンライン決済」であることを店員に伝え、請求内容を確認のうえ、支払ってください。

<銀行ATM（Pay-easy）> <ネットバンキング>

銀行ATMによる支払いは、Pay-easy（ペイジー）に対応した銀行のみで可能です。
ゆうちょ銀行ATM、ペイジー対応銀行のATMおよびネットバンキングが利用可能です。

※窓口での支払いはできません。
※コンビニエンスストアに設置されているATMは利用できません。

注意

・入学検定料の他にサービス利用料（一律990円）が必要となります。
・複数回に分けて出願登録（STEP3）をする場合は、サービス利用料が各回それぞれに必要となります。
・いったん納入された入学検定料は、返還しません。ただし、「入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合」「入学検定料を納入し出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合」「入学検定料を誤って過剰に納入した場合」に限り、入学検定料（サービス利用料を除く）を返還しますので、アドミッションセンターへ問い合わせてください。

6. 出願書類の郵送

出願書類を市販の角形2号サイズ（240mm×332mm）の封筒に入れ、出願登録完了後にマイページより印刷した「宛名ラベル」を封筒に貼付し、郵便局窓口から「速達・簡易書留」で出願期間内に郵送してください。

＜郵送先＞
〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23
愛知淑徳大学　アドミッションセンター

注意

・出願後（入学検定料納入後）の入試方式、入試日、志望学科・専攻、科目、試験会場等の変更は、いかなる理由があっても認めません。
・いったん提出された出願書類は、返還しません。
・郵便局窓口で発行される書留の「受領書」は、必ず保管してください。

7. 受験票・受験番号の取得

下記URLからマイページにログインし、「オンライン受験票」より受験票（PDF）を取得してください。**受験票の郵送はしません。**

https://exam-entry.52school.com/aasa/my

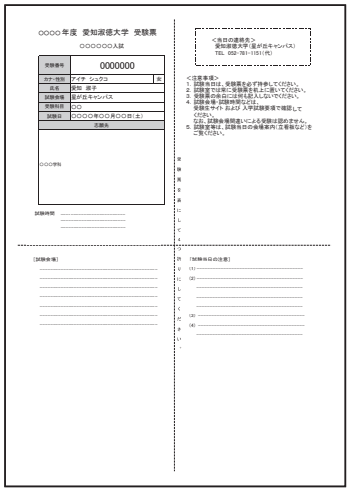
※大学WEBサイトからもアクセスできます。

〈取得開始日〉

入試方式	取得開始日	
大学理念・違いを共に生きる入試〔第1次選考〕	2026年 9月12日（土）10:00	受験番号
大学理念・違いを共に生きる入試〔第2次選考〕	2026年10月1日（木）10:00	受験票（要印刷）
活動実績入試	2026年10月1日（木）10:00	
学科・専攻適性入試		

※受験票は2027年4月23日（金）までの公開です。

〈受験票サンプル〉


○○○○年度 愛知淑徳大学 受験票

○○○○○○入試

受験番号	0000000
カナ・性別	アイチ シュクク 男
氏名	愛知 淑子
試験会場	座が丘キャンパス
受験科目	○○
試験日	○○○○年○○月○○日（土）

志願先

○○○学科

試験時間

【試験会場】

＜当日の連絡先＞
愛知淑徳大学（座が丘キャンパス）
TEL 052-781-1151（代）

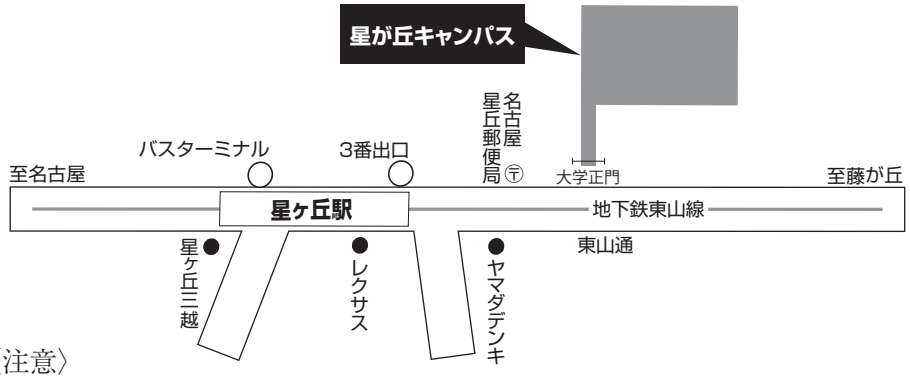
＜注意事項＞
1. 試験当日は、受験票を必ず持参してください。
2. 試験室では席に受験番号を貼上に置いてください。
3. 受験会場は、ご自分で検索しないでください。
4. 受験票は、A4サイズ、A3サイズ以外は受験票等で確認してください。
なお、試験会場間違いによる受験は認めません。
5. 試験室等は、試験当日の会場案内（立看板など）をご覧ください。

【「試験当日の注意」】

A4判

2 試験会場（星が丘キャンパス）案内

地下鉄東山線「星ヶ丘駅」3番出口より徒歩約3分



星が丘キャンパス
名古屋市千種区桜が丘23
TEL（052）781-1151（代表）

〈注意〉

・試験会場に駐車スペースはありませんので、公共交通機関でお越しください。また、近隣の方の迷惑となりますので、送迎を含め、車での来校は固くお断りします。
・試験当日は、スクールバスおよびキャンパス間の連絡バスは運行しません。

3 合格発表（インターネットによる合否照会）

1. 合否結果は、合格発表当日の午前10時から、インターネット出願システムのマイページ内「合否結果」から確認してください。ログインする際、マイページログイン用「メールアドレス」「パスワード」が必要となります。
2. **本学での掲示発表や郵送による合格通知はおこないません。**
3. 合格した場合（大学理念・違いを共に生きる入試〔第1次選考〕の合格は除く）、インターネット出願システムのマイページ内「合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷」から必要書類を印刷してください（P.33「入学手続」参照）。
4. 合否結果に関する問い合わせには、応じません。

マイページログインURL

https://exam-entry.52school.com/aasa/my

※大学WEBサイトからもアクセスできます。
※マイページ内「合否結果」から合否を確認してください。

〈合否照会可能期間〉

入試方式	合否照会可能期間
大学理念・違いを共に生きる入試〔第1次選考〕	2026年10日1日（木） 10:00 ～ 10月10日（土） 23:59
大学理念・違いを共に生きる入試〔第2次選考〕	2026年11日2日（月） 10:00 ～ 11月8日（日） 23:59
活動実績入試	
学科・専攻適性入試	

注意

・合否照会開始直後は混み合うため、つながりにくい場合があります。
・合否照会の「誤操作」「見間違い」などを理由とした、入学手続締切日後の入学手続は認めません。

4 入学手続

入学手続は、「入学手続時納入金の納入」および「学生個票等の入力」「入学手続書類の提出」によって完了します。入学手続を所定の期間内に完了しない方は、入学の意思のないものとみなし、入学を認めません。「学生個票等の入力」「入学手続書類の提出」については、2月末発送予定の「新入生のしおり」で案内します。

〈入学手続時納入金の納入〉

マイページより「振込依頼票」を印刷し、「入学手続要項」で詳細を確認のうえ、所定の期日までに入学手続時納入金を納入してください。期日までに手続をおこなわなかった場合は、入学資格を失います。

下記URLからマイページにログインし、「合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷」から印刷をしてください。

https://exam-entry.52school.com/aasa/my

※大学WEBサイトからもアクセスできます。

〈印刷可能期間〉

2026年11月2日(月)10:00～2027年3月31日(水)23:59

共通

1. **本学から合格通知書、振込依頼票、入学手続要項の郵送はおこないません。**今後の手続については、入学手続要項と2月末発送予定の「新入生のしおり」で確認してください。
2. 所定の期日までに入学手続が完了しない場合は入学資格を失います。
3. 合格者であっても、「誤操作」「見間違い」「未確認」などを理由とした締切日後の入学手続は認めません。
4. 大学理念・違いを共に生きる入試、活動実績入試、学科・専攻適性入試は専願制入試のため、入学しない場合でも納入された入学手続時納入金は返還しません。

●外国人の合格者へ

入学時には「留学」ビザが必要です(ただし、すでに「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」などの有効な在留資格を持っている方は除きます)。新規で「留学」の在留資格申請が必要な方や、入学までに在留期間更新の手続が必要な方は、合否結果を確認後、本学国際交流センター〈TEL(052)783−1590(直通)〉に連絡してください。

5 入学前教育

1. 大学での学修に必要となる「基礎学力」を強化するため、全学科・専攻共通で入学前教育をオンライン・e-ラーニング方式で実施します。
   合格者には、11月中旬に入学前教育について郵送で案内するので、全学科・専攻共通の課題※について3月下旬までに終了させてください。
   ※全学科・専攻共通の課題はタブレットやスマートフォンでおこなうことも可能です。
2. 上記の全学科・専攻共通の入学前教育の他に、独自の課題を課す学科・専攻もあります。
   1.と同様に、合格者には、入学前教育について郵送で案内するので、学科・専攻ごとの独自の課題について所定の方法でおこなってください。

6 成績開示

1. 受験者本人への開示

入学試験の成績については、受験者本人から請求があった場合に開示します。成績開示を希望する受験者は、以下の要領で申し込んでください。

(1)開示請求受付期間
2027年4月1日(木)～4月23日(金) 締切日消印有効

(2)申請者
受験者本人に限ります(代理人による申請は不可)

(3)開示内容
受験科目または評価項目ごとの得点、総得点、満点値

(4)提出書類
①入学試験成績開示請求書：大学WEBサイトより、3月下旬からダウンロードできます。
②受験票：紛失した場合は、改めて下記URLからマイページにログインし、受験票を印刷してください。
※「大学理念・違いを共に生きる入試」の第1次選考の不合格者は受験票がないため、受験票のかわりに受験番号が表示されている画面を印刷してください。

https://exam-entry.52school.com/aasa/my

③開示書送付料：郵便定額小為替 500 円分(「指定受取人」欄の記入は不要)
④住民票の写し：送付先の住所が出願時の住所と異なる場合のみ、送付先が記載された住民票を提出してください。送付先の確認をします。

(5)申し込み方法
＜郵送の場合＞
「簡易書留」でアドミッションセンター宛に郵送してください(封筒に「入学試験成績開示請求」と朱書きする)。
＜持参の場合＞
アドミッションセンターに提出してください(受付：平日/9:00～17:00)。

(6)開示方法
「簡易書留」にて入学試験成績開示請求書記載の住所に「入学試験成績開示書」を郵送します(5月中旬予定)。提出した受験票は、成績開示書とともに返却します。

(7)書類の郵送先・問い合わせ先
愛知淑徳大学　アドミッションセンター
〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23　TEL (052) 781−7084 (直通)

2. 出身高等学校への開示

本学は全ての入試方式において、調査書等を出願書類として出身高等学校より提出いただくことから、「受験の有無」「合否結果」を出身高等学校長に親展にて通知します。あらかじめ了解のうえ、出願してください。

(1)上記内容の個人情報の通知は、出身高等学校に限定し、それ以外の学外他者に通知・報告等をおこなうことは一切ありません。

(2)何らかの理由で出身高等学校への通知を希望しない方は、出願の際、A4用紙(書式自由)に本人直筆で「高等学校への通知を希望しない」旨の一文と郵便番号・住所・氏名・フリガナ・電話番号・学校名を記入、捺印のうえ、出願書類に同封してください。個人情報の通知を希望しない場合でも、入学試験に関して不利益が生じることはありません。

7 学納金〔1年次〕

（単位：円）

学部 学科・専攻	入学手続時納入金						後期（10月）納入金				初年度納入金
	入学金	前期授業料	前期教育充実費	後援会入会金	前期後援会費	計	後期授業料	後期教育充実費	後期後援会費	計	
文学部	200,000	395,000	185,000	5,000	5,000	790,000	395,000	185,000	5,000	585,000	1,375,000
教育学部	200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
人間情報学部	200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
心理学部	200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
創造表現学部	200,000	395,000	185,000	5,000	5,000	790,000	395,000	185,000	5,000	585,000	1,375,000
建築学部※1	200,000	405,000	210,000	5,000	5,000	825,000	405,000	210,000	5,000	620,000	1,445,000
健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻※2 視覚科学専攻※2	200,000	445,000	255,000	5,000	5,000	910,000	445,000	255,000	5,000	705,000	1,615,000
健康医療科学部 医療貢献学科 理学療法学専攻※3 臨床検査学専攻※3	200,000	445,000	270,000	5,000	5,000	925,000	445,000	270,000	5,000	720,000	1,645,000
健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 スポーツ・健康科学専攻	200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 救急救命学専攻	200,000	460,000	210,000	5,000	5,000	880,000	460,000	210,000	5,000	675,000	1,555,000
食健康科学部※4	200,000	415,000	230,000	5,000	5,000	855,000	415,000	230,000	5,000	650,000	1,505,000
福祉貢献学部	200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
交流文化学部	200,000	395,000	185,000	5,000	5,000	790,000	395,000	185,000	5,000	585,000	1,375,000
ビジネス学部	200,000	395,000	185,000	5,000	5,000	790,000	395,000	185,000	5,000	585,000	1,375,000
グローバル・コミュニケーション学部	200,000	445,000	185,000	5,000	5,000	840,000	445,000	185,000	5,000	635,000	1,475,000

※1　建築学部は、2年次以降教育充実費が年間500,000円になります。
※2　健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻、視覚科学専攻は、2年次以降教育充実費が年間610,000円になります。
※3　健康医療科学部 医療貢献学科 理学療法学専攻、臨床検査学専攻は、2年次以降教育充実費が年間640,000円になります。
※4　食健康科学部は、2年次以降教育充実費が年間510,000円になります。

・上記以外に、入学手続金納入時に学生教育研究災害傷害保険（入学者全員加入）の4年間分の保険料として2,650円（予定）、ただし健康医療科学部・食健康科学部・福祉貢献学部は2,720円（予定）を一括徴収します。
・後援会は、全員加入です。後援会に代わり、大学が入会金および会費を一旦徴収します。2年次以降は会費のみで、年間10,000円になります。

高等教育の修学支援新制度について

本学は、高等教育の修学支援新制度の対象機関です。同制度による授業料等減免対象者（採用候補者）であっても、入学手続期間内に入学金および授業料等の納入が必要です。なお、入学後所定の手続をとることにより、区分に応じた減免額を還付します。

外国人留学生の授業料減免について　入学後、「愛知淑徳大学私費外国人留学生授業料減免に関する規程」に基づく選考により、外国人留学生の授業料を30%を限度として減免する制度があります。

在学中（4年間）に別途徴収する実験実習費の概算、および学科必修（選択必修）の留学等費用の概算は、以下のとおりです。なお、金額は変更になる場合があります。

〈実験実習費（2026年度参考）〉

種類	実験実習費	対象学生
教育実習（小学校）	5,400円	小学校の教員免許状取得を希望する学生
教育実習（中高・栄養）	5,000円	中学校・高等学校および栄養教諭の教員免許状取得を希望する学生
教育実習（特別支援）	5,400円	特別支援学校の教員免許状取得を希望する学生
教育実習（幼稚園）	29,000円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 子ども福祉専攻で幼稚園の教員免許状取得を希望する学生
介護等体験実習	13,300円	介護等体験・介護実践演習を履修する学生
博物館実習	16,000円	学芸員課程科目の博物館実習を履修する学生
図書館実習	3,000円	司書課程科目の図書館実習を履修する学生
オンライン検索実習	7,000円	司書資格の取得を希望する学生
公認心理師実習 （集団抗体検査費用を含む）	19,500円	心理学部 心理学科で公認心理師受験資格取得のため心理実習を希望する学生
言語聴覚士実習	300,000円	健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻の学生
視能訓練士実習	150,000円	健康医療科学部 医療貢献学科 視覚科学専攻の学生
理学療法士実習	360,000円	健康医療科学部 医療貢献学科 理学療法学専攻の学生
臨床検査技師実習	350,000円	健康医療科学部 医療貢献学科 臨床検査学専攻の学生
救急救命士実習	230,000円	健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 救急救命学専攻の学生
管理栄養士実習	220,000円	食健康科学部 健康栄養学科の学生
食創造科学科実験実習	28,000円～83,000円	食健康科学部 食創造科学科の学生（食品衛生管理者、監視員の資格取得を希望する場合を含む）
社会福祉士実習	87,500円～96,300円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 社会福祉専攻でソーシャルワーク実習を希望する学生
精神保健福祉士実習	68,500円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 社会福祉専攻で精神保健福祉援助実習を希望する学生
保育実習	52,000円～62,000円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 子ども福祉専攻で保育実習を希望する学生
集団抗体検査費用	9,700円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 子ども福祉専攻で教育実習（幼稚園）および保育実習を希望する学生

〈留学等費用（2026年度参考）〉 海外の場合、サーチャージや為替により変動することがあります。

学科	科目名	費用（自己負担額）
教育学科	海外セミナーI・II（2年次前期・後期選択必修）	500,000円～900,000円※
ビジネス学科	Bilingual Internship（3・4年次選択必修）	450,000円～750,000円※
グローバル・コミュニケーション学科	Study Abroad（2年次必修）	550,000円～1,050,000円※

※　派遣先、留学先により、費用が異なります。

8 奨学金

1 日本学生支援機構奨学金(2026年度)

日本学生支援機構奨学金には、貸与型と給付型があり、それぞれ定められた条件があります。

・貸与奨学金

貸与奨学金には「第一種(無利子貸与)」および「第二種(有利子貸与)」があります。
貸与奨学金の場合、卒業後20年以内(最長)に返還する義務があり、申込時には連帯保証人および保証人を立てることになっています(機関保証制度を選択した場合は不要)。

種類	第一種(無利子貸与)	第二種(有利子貸与)
金額 (月額)	[自 宅 生] 2万円、3万円、4万円、5万4千円から選択 [自宅外生] 2万円、3万円、4万円、5万円、6万4千円から選択	2万円～12万円の中から1万円単位で選択

・給付奨学金・授業料等減免

給付奨学金は原則として返還義務のない奨学金です。世帯の所得金額に基づく区分(第Ⅰ区分～第Ⅳ区分)に応じて支給金額が異なります。また、給付奨学金の対象者は、授業料等減免の手続をおこなうことで、授業料等減免を同時に受けることができます。**なお、本学では高等学校在学時に採用された方も入学手続期限までに入学金を含む入学手続時納入金を納入いただき、入学後所定の手続をとることにより、区分に応じた減免額を還付します。**

区分	支給月額		授業料等減免
	自宅通学	自宅外通学	
第Ⅰ区分	38,300円(42,500円)	75,800円	授業料減免上限額の70万円免除 入学金20万円免除(新入生のみ)
第Ⅱ区分	25,600円(28,400円)	50,600円	第Ⅰ区分の減免額の2/3
第Ⅲ区分	12,800円(14,200円)	25,300円	第Ⅰ区分の減免額の1/3
第Ⅳ区分 (多子世帯に限る)	9,600円(10,700円)	19,000円	第Ⅰ区分の減免額の1/4

※自宅外通学の場合、自宅外通学であることの証明書類の提出が必要
※生活保護世帯で自宅から通学する人および児童養護施設等から通学する人は上表のカッコ内の金額

愛知淑徳大学は高等教育の修学支援新制度についての対象機関です。なお、人間情報学部人間情報学科、創造表現学部創造表現学科、建築学部建築学科は同制度理工農系学部・学科の対象です。

2 愛知淑徳大学独自の奨学金(2026年度)

奨励給付奨学金1	対象者	学部の3年生、4年生で特に学業成績優秀な者。	採用人数	各学科・専攻ごとに異なる(各学年次において2～4名)	給付額	年額10万円	
	成績条件	GPAと修得単位数の条件あり	選考基準	学部からの推薦による	備考	2年連続しての受給も可	
奨励給付奨学金2 (私費外国人留学生) ※2027年度予定	対象者	グローバル入試のうち、「外国人留学生(学校推薦)」で入学した外国人留学生					
	採用人数	各学年6名	給付額	年額35万円	成績条件	修得単位数の条件あり	
	選考基準	支給条件に該当する資格等を取得した者	備考	在学中4回まで。			
特別給付奨学金1 (緊急支援)	対象者	学部生。主たる家計支持者の死亡、疾病、失業、破産(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事情に限る)により、経済的に就学が困難な者。					
	採用人数	若干名	給付額	年額50万円	成績条件	修得単位数の条件あり	備考	同事由に対しては、在学中1回とする。
特別給付奨学金1 (災害支援)	対象者	学部生。主たる家計支持者の地震・風水害等の被災(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事情に限る)により、経済的に就学が困難な者。					
	採用人数	若干名	給付額	年額20万円	成績条件	修得単位数の条件あり	備考	同事由に対しては、在学中1回とする。
特別給付奨学金2 (海外留学派遣)	対象者	交換留学生	採用人数	【渡航支援】交換留学生全員 【留学支援】若干名			
	給付額	【渡航支援】留学先により10万円～20万円 【留学支援】留学先国、留学期間により20万円～80万円	成績条件	【留学支援】交換留学等の留学生試験の成績優秀者			
愛知淑徳大学 同窓会奨学金 修学奨学金	対象者	学部の4年生					
	採用人数	各学科・専攻ごとに異なる(2～4名)	給付額	年額10万円			
	成績条件	4年次前期までの通算GPAが3.0以上であること。	備考	申請年度の3月に卒業する見込みで、愛知淑徳大学同窓会の活動を理解し、入会するものに限る。特別給付奨学金受給者も申請可。			
愛知淑徳大学 同窓会奨学金 留学生奨学金 (外国人留学生)	対象者	「留学」の在留資格を有する正規課程に在籍する外国人留学生。学業成績および人物考課が特に優れている者。					
	採用人数	約20名	給付額	10万円			
	成績条件	学業成績、履修科目数・履修状況、学習態度、生活態度等も含め、総合的に評価する。	備考	1年に1回。他の奨学金(学外)との併願可。			

3 その他の奨学金

地方公共団体や民間団体による奨学金制度は、随時案内します。

国の教育ローン(日本政策金融公庫)

「国の教育ローン」コールセンター 0570－008656 ホームページ https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html

様式（本学所定用紙）

この「様式」は、大学WEBサイトにも掲載しています。枚数が不足する場合や書き損じた場合は、ダウンロードして使用してください。ダウンロードする場合は、枚数に注意して提出してください。

大学理念・違いを共に生きる入試

●課題レポート …… 2枚

活動実績入試

活動実績票・活動内容証明書の記入例 …… P.44
●志望理由書（活動実績入試）…… 1枚
● Ⓐ 活動実績票 …… 1枚
● Ⓑ 活動内容証明書（㋐スポーツ・体育系部門 ㋑文化・芸能系部門）…… 2枚
● Ⓒ 活動内容証明書（㋓社会的活動等の部門）…… 1枚
●活動実績質問用紙
（㋐スポーツ・体育系部門 ㋑文化・芸能系部門 ㋒資格・検定部門）…… 1枚
●活動実績質問用紙（㋓社会的活動等の部門）…… 1枚

学科・専攻適性入試

●志望理由書（学科・専攻適性入試）…… 1枚

愛知淑徳大学

2027年度

大学理念・違いを共に生きる入試　課題レポート

フリガナ					
氏　名					
第1志望 学科・専攻 ○で囲む	国　文	教　育	感性工学	データサイエンス	数学・情報 教員養成
	心　理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観　光	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション	

1. 大学理念動画（入試用）を視聴し、あなたが重要だと考えたキーワードを２つ選び出し、そのキーワードを用いて、愛知淑徳大学を強く志望する動機について大学理念と関連づけて述べなさい。なお、キーワードにはすべて波線を引くこと（400 字以内）。

※消えないインクの黒ボールペンで横書き

キーワード

200

400

キリトリ線

フリガナ	
氏　名	

2. これまでの経験や周囲での出来事の中で、「違いを共に生きる」ということの重要さを実感した事柄について述べなさい（400 字以内）。

※消えないインクの黒ボールペンで横書き

200

400

フリガナ	
氏　名	

3. 将来の目標を実現するために、大学理念「違いを共に生きる」を掲げる愛知淑徳大学で過ごす 4 年間で、どのようなことに取り組みたいと考えているか具体的に述べなさい（400 字以内）。

※消えないインクの黒ボールペンで横書き

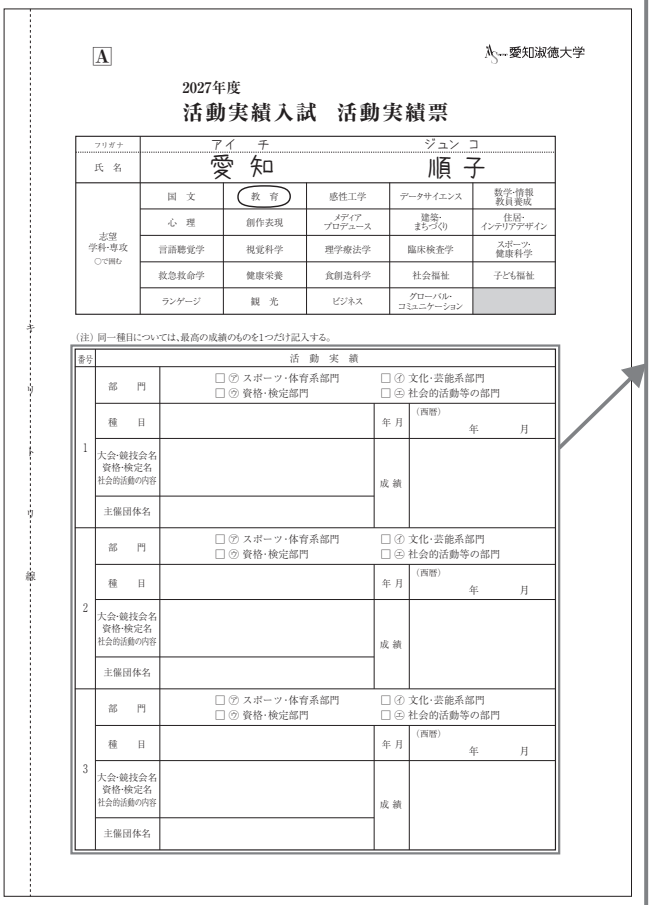
200

400

キリトリ線

活動実績票・活動内容証明書の記入例

A 活動実績票の記入例



A

愛知淑徳大学

2027年度
活動実績入試　活動実績票

フリガナ	アイ　チ			ジュン コ	
氏名	愛 知			順 子	
志望学科・専攻 ○で囲む	国文	教育	感性工学	データサイエンス	数学・情報教員養成
	心理	創作表現	メディアプロデュース	建築・まちづくり	住居・インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観光	ビジネス	グローバルコミュニケーション	

（注）同一種目については、最高の成績のものを1つだけ記入する。

番号	活動実績			
1	部門	□㋐ スポーツ・体育系部門 □㋑ 文化・芸能系部門 □㋒ 資格・検定部門 □㋓ 社会的活動等の部門		
	種目		年月	（西暦） 年 月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容		成績	
	主催団体名			
2	部門	□㋐ スポーツ・体育系部門 □㋑ 文化・芸能系部門 □㋒ 資格・検定部門 □㋓ 社会的活動等の部門		
	種目		年月	（西暦） 年 月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容		成績	
	主催団体名			
3	部門	□㋐ スポーツ・体育系部門 □㋑ 文化・芸能系部門 □㋒ 資格・検定部門 □㋓ 社会的活動等の部門		
	種目		年月	（西暦） 年 月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容		成績	
	主催団体名			

㋐ スポーツ・体育系部門

番号	活動実績			
1	部門	☑㋐ スポーツ・体育系部門 □㋑ 文化・芸能系部門 □㋒ 資格・検定部門 □㋓ 社会的活動等の部門		
	種目	ソフトテニス	年月	（西暦） 2025 年 8 月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容	全国高等学校 総合体育大会 ソフトテニス競技大会	成績	個人 3 位
	主催団体名	全国高等学校体育連盟		

㋑ 文化・芸能系部門

番号	活動実績			
1	部門	□㋐ スポーツ・体育系部門 ☑㋑ 文化・芸能系部門 □㋒ 資格・検定部門 □㋓ 社会的活動等の部門		
	種目	演 劇	年月	（西暦） 2025 年 7 月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容	全国高等学校 演劇大会	成績	全国大会 団体優勝
	主催団体名	全国高等学校演劇協議会		

㋒ 資格・検定部門

番号	活動実績			
2	部門	□㋐ スポーツ・体育系部門 □㋑ 文化・芸能系部門 ☑㋒ 資格・検定部門 □㋓ 社会的活動等の部門		
	種目	英 語	年月	（西暦） 2026 年 6 月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容	TOEIC Listening & Reading Test	成績	560点
	主催団体名	国際ビジネスコミュニケーション協会		

㋓ 社会的活動等の部門

番号	活動実績			
3	部門	□㋐ スポーツ・体育系部門 □㋑ 文化・芸能系部門 □㋒ 資格・検定部門 ☑㋓ 社会的活動等の部門		
	種目	生徒会活動	年月	（西暦） 2026 年 4~8 月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容	生徒会会長	成績	
	主催団体名			

活動実績票の記入に際しての注意

〈例1〉

	種目	大会・競技会名〔主催団体名〕	成績	格付
1	陸上競技	全国高等学校総合体育大会〔全国高等学校体育連盟〕	800m　個人3位	A
2	陸上競技	全国高等学校総合体育大会愛知県大会〔全国高等学校体育連盟〕	800m　個人1位	対象外

→「2」は対象外の競技会のため、「1」のみが評価対象となる。

〈例2〉

	種目	資格・検定名〔主催団体名〕	成績	格付
1	英語	TOEIC Listening & Reading Test〔国際ビジネスコミュニケーション協会〕	560点	A
2	英語	英語検定試験〔全国商業高等学校協会〕	1級	C

→同一種目のため、格付Aの「1」のみが評価対象となる。

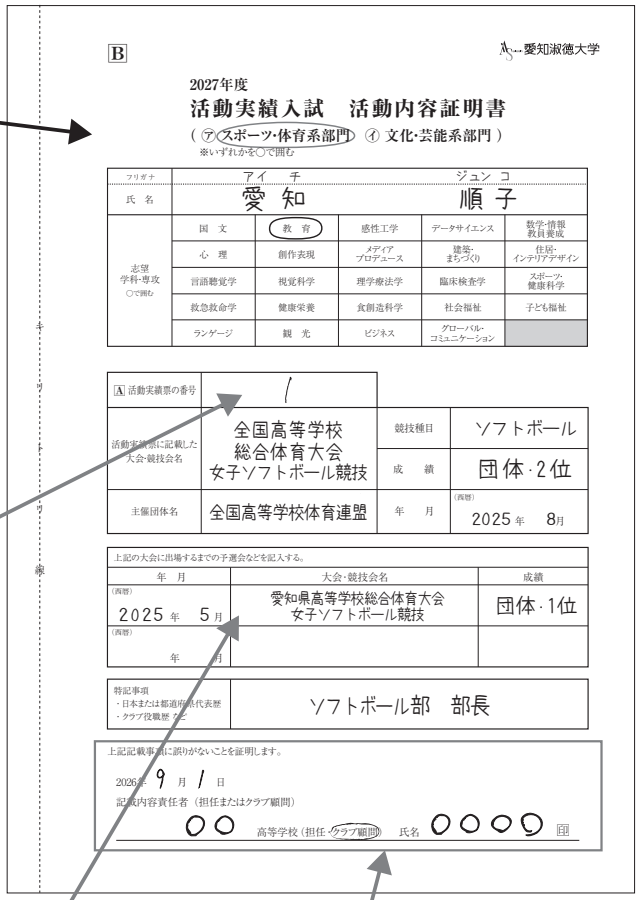
〈例3〉

	種目	資格・検定名または社会的活動等の内容〔主催団体名〕	成績	格付
1	簿記	日商簿記検定〔日本商工会議所〕	2級	B
2	英語	英語検定試験〔全国商業高等学校協会〕	1級	C
3	生徒会活動	生徒会会長（高校3年時）2026年4月～2026年8月	−	C

→種目が異なるため、すべてが評価対象となる。

活動実績に対し、成績や出場を証明するもののコピーを添付
〈例〉・賞状
・トーナメント表
・メンバー表（団体競技の場合）

B 活動内容証明書 ㋐スポーツ・体育系部門 ㋑文化・芸能系部門の記入例



B

愛知淑徳大学

2027年度
活動実績入試　活動内容証明書
（ ㋐スポーツ・体育系部門 ㋑ 文化・芸能系部門 ）
※いずれかを○で囲む

フリガナ	アイ　チ			ジュン コ	
氏名	愛 知			順 子	
志望学科・専攻 ○で囲む	国文	教育	感性工学	データサイエンス	数学・情報教員養成
	心理	創作表現	メディアプロデュース	建築・まちづくり	住居・インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観光	ビジネス	グローバル・コミュニケーション	

Ⓐ活動実績票の番号	1		
活動実績票に記載した大会・競技会名	全国高等学校総合体育大会 女子ソフトボール競技	競技種目	ソフトボール
		成績	団体・2位
主催団体名	全国高等学校体育連盟	年月（西暦）	2025年 8月

上記の大会に出場するまでの予選会などを記入する。

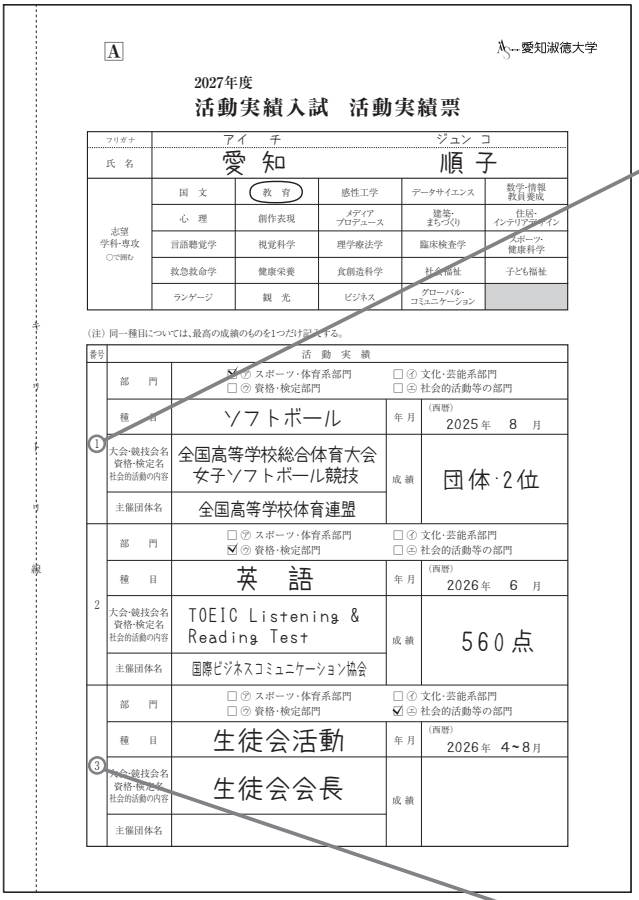
年月（西暦）	大会・競技会名	成績
2025年 5月	愛知県高等学校総合体育大会 女子ソフトボール競技	団体・1位
年 月		

特記事項 ・日本または都道府県代表歴 ・クラブ役職歴 など	ソフトボール部　部長

上記記載事項に誤りがないことを証明します。
2026年 9月 1日
記載内容責任者（担任またはクラブ顧問）
○○ 高等学校（担任・クラブ顧問） 氏名 ○○○○ 印

予選会などがない場合は「特になし」と記入する。

担任またはクラブ顧問の署名と印鑑がないものは無効です。



A

愛知淑徳大学

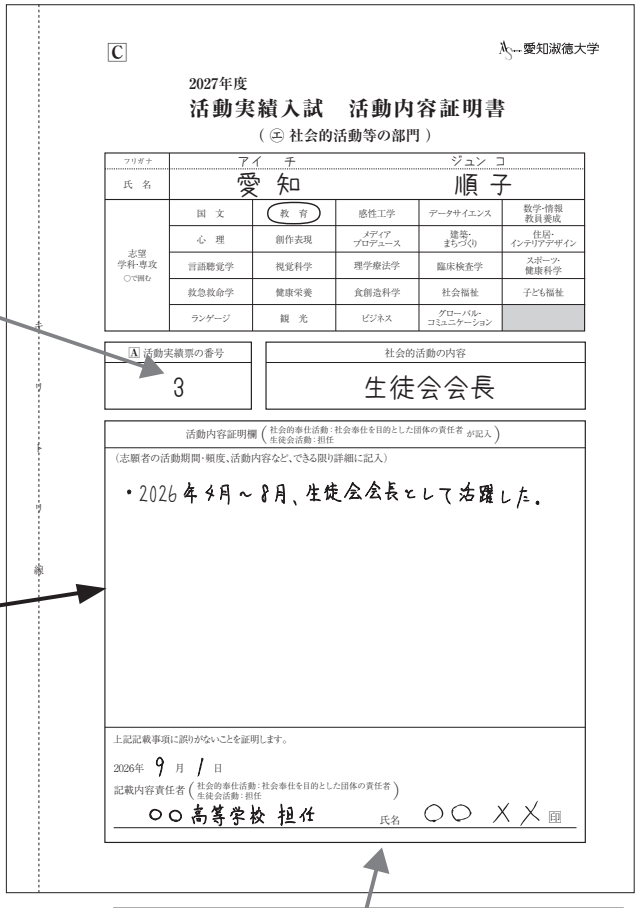
2027年度
活動実績入試　活動実績票

フリガナ	アイ　チ			ジュン コ	
氏名	愛 知			順 子	
志望学科・専攻 ○で囲む	国文	教育	感性工学	データサイエンス	数学・情報教員養成
	心理	創作表現	メディアプロデュース	建築・まちづくり	住居・インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観光	ビジネス	グローバル・コミュニケーション	

（注）同一種目については、最高の成績のものを1つだけ記入する。

番号	活動実績			
①	部門	☑㋐スポーツ・体育系部門 ☐㋑文化・芸能系部門 ☐㋒資格・検定部門 ☐㋓社会的活動等の部門		
	種目	ソフトボール	年月（西暦）	2025年 8月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容	全国高等学校総合体育大会 女子ソフトボール競技	成績	団体・2位
	主催団体名	全国高等学校体育連盟		
2	部門	☐㋐スポーツ・体育系部門 ☐㋑文化・芸能系部門 ☑㋒資格・検定部門 ☐㋓社会的活動等の部門		
	種目	英　語	年月（西暦）	2026年 6月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容	TOEIC Listening & Reading Test	成績	560点
	主催団体名	国際ビジネスコミュニケーション協会		
③	部門	☐㋐スポーツ・体育系部門 ☐㋑文化・芸能系部門 ☐㋒資格・検定部門 ☑㋓社会的活動等の部門		
	種目	生徒会活動	年月（西暦）	2026年 4~8月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容	生徒会会長	成績	
	主催団体名			

C 活動内容証明書 ㋓ 社会的活動等の部門の記入例



C

愛知淑徳大学

2027年度
活動実績入試　活動内容証明書
（ ㋓ 社会的活動等の部門 ）

フリガナ	アイ　チ			ジュン コ	
氏名	愛 知			順 子	
志望学科・専攻 ○で囲む	国文	教育	感性工学	データサイエンス	数学・情報教員養成
	心理	創作表現	メディアプロデュース	建築・まちづくり	住居・インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観光	ビジネス	グローバル・コミュニケーション	

Ⓐ活動実績票の番号	社会的活動の内容
3	生徒会会長

活動内容証明欄（社会的奉仕活動：社会奉仕を目的とした団体の責任者 が記入 / 生徒会活動：担任）
（志願者の活動期間・頻度、活動内容など、できる限り詳細に記入）
・2026年4月～8月、生徒会会長として活躍した。

上記記載事項に誤りがないことを証明します。
2026年 9月 1日
記載内容責任者（社会的奉仕活動：社会奉仕を目的とした団体の責任者 / 生徒会活動：担任）
○○高等学校 担任 氏名 ○○ ××

社会奉仕を目的とした団体の責任者（社会的奉仕活動）または担任（生徒会活動）の署名と印鑑がないものは無効です。

活動実績を証明するもののコピーを添付
〈例〉・認証状

2027年度

活動実績入試　志望理由書

フリガナ					
氏　名					
志望 学科・専攻 ○で囲む	国　文	教　育	感性工学	データサイエンス	数学・情報 教員養成
	心　理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観　光	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション	

●志望する学科・専攻への志望理由と入学後の目標、大学生活への抱負などについて、表面に箇条書きにし、裏面に600字以内の文章でまとめる。

※消えないインクの黒ボールペンで横書き

志望理由（箇条書き）

キリトリ線

フリガナ	
氏　名	

志望理由（文章）

※消えないインクの黒ボールペンで横書き

200

400

600

A

愛知淑徳大学

2027年度

活動実績入試　活動実績票

フリガナ					
氏　名					
志望 学科・専攻 ○で囲む	国　文	教　育	感性工学	データサイエンス	数学・情報 教員養成
	心　理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観　光	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション	

（注）同一種目については、最高の成績のものを1つだけ記入する。

番号	活　動　実　績			
1	部　門	□ ㋐ スポーツ・体育系部門　□ ㋑ 文化・芸能系部門 □ ㋒ 資格・検定部門　□ ㋓ 社会的活動等の部門		
	種　目		年 月	（西暦） 年　月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容		成 績	
	主催団体名			
2	部　門	□ ㋐ スポーツ・体育系部門　□ ㋑ 文化・芸能系部門 □ ㋒ 資格・検定部門　□ ㋓ 社会的活動等の部門		
	種　目		年 月	（西暦） 年　月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容		成 績	
	主催団体名			
3	部　門	□ ㋐ スポーツ・体育系部門　□ ㋑ 文化・芸能系部門 □ ㋒ 資格・検定部門　□ ㋓ 社会的活動等の部門		
	種　目		年 月	（西暦） 年　月
	大会・競技会名 資格・検定名 社会的活動の内容		成 績	
	主催団体名			

B

愛知淑徳大学

2027年度

活動実績入試　活動内容証明書

(㋐ スポーツ･体育系部門　㋑ 文化･芸能系部門)

※いずれかを○で囲む

フリガナ					
氏　名					
志望 学科･専攻 ○で囲む	国　文	教　育	感性工学	データサイエンス	数学･情報 教員養成
	心　理	創作表現	メディア プロデュース	建築･ まちづくり	住居･ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ･ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観　光	ビジネス	グローバル･ コミュニケーション	

A 活動実績票の番号			
活動実績票に記載した 大会･競技会名		競技種目	
		成　　績	
主催団体名		年　　月	(西暦) 年　　月

上記の大会に出場するまでの予選会などを記入する。		
年　月	大会･競技会名	成績
(西暦) 年　　月		
(西暦) 年　　月		

特記事項 ・日本または都道府県代表歴 ・クラブ役職歴 など	

上記記載事項に誤りがないことを証明します。

2026年　　月　　日

記載内容責任者（担任またはクラブ顧問）

高等学校（担任・クラブ顧問）　氏名　　印

B

愛知淑徳大学

2027年度

活動実績入試　活動内容証明書

(㋐ スポーツ･体育系部門　㋑ 文化･芸能系部門)

※いずれかを○で囲む

フリガナ					
氏　名					
志望 学科･専攻 ○で囲む	国　文	教　育	感性工学	データサイエンス	数学･情報 教員養成
	心　理	創作表現	メディア プロデュース	建築･ まちづくり	住居･ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ･ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観　光	ビジネス	グローバル･ コミュニケーション	

A 活動実績票の番号			
活動実績票に記載した 大会･競技会名		競技種目	
		成　　績	
主催団体名		年　　月	(西暦) 年　　月

上記の大会に出場するまでの予選会などを記入する。		
年　月	大会･競技会名	成績
(西暦) 年　　月		
(西暦) 年　　月		

特記事項 ・日本または都道府県代表歴 ・クラブ役職歴 など	

上記記載事項に誤りがないことを証明します。

2026年　　月　　日

記載内容責任者（担任またはクラブ顧問）

高等学校（担任・クラブ顧問）　氏名　　印

C

愛知淑徳大学

2027年度

活動実績入試　活動内容証明書

（ ㊓ 社会的活動等の部門 ）

フリガナ					
氏　名					
志望 学科・専攻 ○で囲む	国　文	教　育	感性工学	データサイエンス	数学・情報 教員養成
	心　理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観　光	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション	

A 活動実績票の番号	社会的活動の内容

活動内容証明欄（社会的奉仕活動：社会奉仕を目的とした団体の責任者
生徒会活動：担任　が記入）

（志願者の活動期間・頻度、活動内容など、できる限り詳細に記入）

上記記載事項に誤りがないことを証明します。

2026年　　月　　日

記載内容責任者（社会的奉仕活動：社会奉仕を目的とした団体の責任者
生徒会活動：担任）

氏名　　印

キリトリ線

〈質問のある方のみ〉

住所　〒　　－	高校名　　高等学校　　年生
	電話番号（　　）　　－
	携帯番号（　　）　　－
フリガナ 氏名	FAX番号（　　）　　－

住所、氏名、高等学校名、電話番号などの個人情報は、収集目的の範囲内で適正に利用し、目的以外の利用はいたしません。

愛知淑徳大学　活動実績入試

活動実績質問用紙

（ ㋐ スポーツ･体育系部門　㋑ 文化･芸能系部門　㋒ 資格･検定部門 ）

番号	活　動　実　績			
1	部　　門 ○で囲む	㋐ スポーツ･体育系部門　㋑ 文化･芸能系部門　㋒ 資格･検定部門		
	種　　目		成　績	
	大会･競技会年月 または取得年月	（西暦） 年　　月		
	大会･競技会または 資格･検定などの名称			
	主催団体名			
	回　　答	※大学にて記入		
2	部　　門 ○で囲む	㋐ スポーツ･体育系部門　㋑ 文化･芸能系部門　㋒ 資格･検定部門		
	種　　目		成　績	
	大会･競技会年月 または取得年月	（西暦） 年　　月		
	大会･競技会または 資格･検定などの名称			
	主催団体名			
	回　　答	※大学にて記入		

※活動実績について不明な点がある場合は、郵便またはFAXにて2026年8月24日(月)必着でお送りください。
電話による問い合わせは受付けません。

〈郵送先〉
〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23
愛知淑徳大学　アドミッションセンター
「活動実績質問用紙　在中」

〈FAX〉
(052) 715-3124

〈質問のある方のみ〉

住所　〒　　－	高校名　　高等学校　　年生
	電話番号（　　）　　－
	携帯番号（　　）　　－
フリガナ 氏名	FAX番号（　　）　　－

住所、氏名、高等学校名、電話番号などの個人情報は、収集目的の範囲内で適正に利用し、目的以外の利用はいたしません。

愛知淑徳大学　活動実績入試

活動実績質問用紙

（ ㊓ 社会的活動等の部門 ）

活　動　実　績	
社会的奉仕活動の内容 ＊できるだけ詳細に記入してください（必要に応じて資料を添付）。	
団 体 名 ［民間団体などに所属している人のみ。高等学校での授業・課外活動・クラブ活動、ボーイスカウトなどは対象としない。］	
社会的奉仕活動の 活動期間・頻度 ＊実際に携わった日数や日付を詳細に記入してください。	
回　　答	※大学にて記入

※活動実績について不明な点がある場合は、郵便またはFAXにて2026年8月24日（月）必着でお送りください。
電話による問い合わせは受付けません。

〈郵送先〉
〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23
愛知淑徳大学　アドミッションセンター
「活動実績質問用紙　在中」

〈FAX〉
(052) 715-3124

2027年度

学科・専攻適性入試　志望理由書

フリガナ					
氏　名					
志望 学科・専攻 ○で囲む	国　文	教　育	感性工学	データサイエンス	数学・情報 教員養成
	心　理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観　光	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション	

●志望する学科・専攻への志望理由と入学後の目標、大学生活への抱負などについて、表面に箇条書きにし、裏面に600字以内の文章でまとめる。

※消えないインクの黒ボールペンで横書き

志望理由（箇条書き）

キリトリ線

フリガナ	
氏　名	

志望理由（文章）

※消えないインクの黒ボールペンで横書き

200

400

600

不正行為の取り扱いについて

愛知淑徳大学では、入学試験を厳正に実施し、すべての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。本学の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 不正行為の取り扱いについて

不正行為をおこなった場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、当日それ以降の受験はできなくなります。失格となり、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。その場合、入学検定料は返還しません。試験終了後に不正行為が発覚した場合も、同様に取り扱います。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

2. 次のことをすると不正行為となります

①出願書類や解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること。
②カンニング（試験時間中に試験の教科・科目に関するメモや参考書等を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
③他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
④試験時間中に問題冊子、解答用紙を試験室から持ち出すこと。
⑤「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
⑥試験時間中に使用が許可されていないもの（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン・ヘッドホン等の電子機器類や耳栓、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、電動式鉛筆削り、下敷き）を使用すること。
⑦「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。
⑧面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、控室等で携帯電話等の電子機器類を使用すること。
⑨面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、すでに試験が終了した他の受験者から試験に関する内容を教えてもらうこと。
⑩面接試験・プレゼンテーション試験において試験後に、これから試験を受ける他の受験者に試験に関する内容を教えること。

3. 次のことをすると不正行為となる場合があります

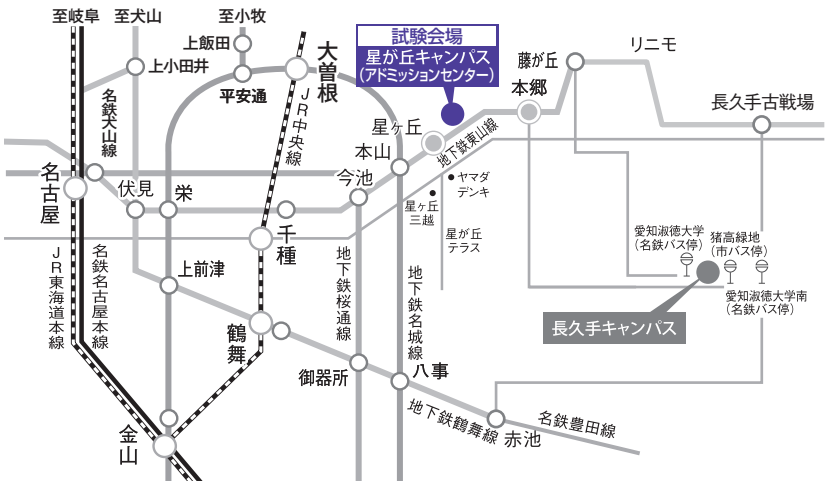
①試験時間中に、使用が許可されていないもの（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン・ヘッドホン等の電子機器類や耳栓、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、電動式鉛筆削り、下敷き）をかばん等にしまわず、身に着けていたり手に持っていたりすること。
②試験時間中に、携帯電話や時計の音（着信・アラーム・振動音等）を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること。
③試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
④面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、控室等で携帯電話等の電子機器類を身に着けていたり手に持っていたりすること。
⑤試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑥試験場において監督者等の指示に従わないこと。
⑦その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

入試に関する生成AI（ChatGPTなど）の取り扱いについて

入学者選抜において、出願時に提出する書類（「志望理由書」「課題レポート」「自己アピール書」など）については、生成AIによって作成されたものを受験者独自の成果物とはみなしません。よって、生成AIに関する指示がない限り、入学者選抜において受験者が生成AIを使用することは認めません。

キャンパスのご案内

■ 星が丘キャンパス　〒464-8671　名古屋市千種区桜が丘23
■ 長久手キャンパス　〒480-1197　愛知県長久手市片平二丁目9



問い合わせ先

愛知淑徳大学 アドミッションセンター

TEL (052) 781−7084 (直通) 平日/9:00~17:00

※土·日·祝日、7月24日、8月8日~8月17日、12月26日~1月5日は電話受付をしていません。

https://www.aasa.ac.jp/

試験当日の問い合わせ先	▶ 星が丘キャンパス TEL (052) 781-1151 (代表)